

2016

ペット総合科 シラバス



学校法人京都中央学院

YIC京都ペット総合専門学校

シラバスとは

シラバスとは講義概要であり授業全体の計画書のことです。授業の目標・内容・参考図書・成績評価の方法などが記され、皆さんのが授業内や授業外で学修を行うための指針を示すものです。

教員は、この指針に従って授業を行うことになります。したがってシラバスは授業計画を学生と教員との間で共有する、「契約書」に近い位置づけのものです。シラバスに記載された目標を達成するために、教員は授業を通して学生である皆さんに知識と技術を習得させる義務を負います。逆に皆さんには授業に出席する義務を負うことになります。

また広い意味では、本校が地域社会に対して本校の教育の質を担保するものもあります。

実際に授業が行われるにあたって、学生や教員があらかじめ準備したり、従うべき事項等を共有する文書となります。授業で行われる内容があらかじめ記載されていますので、学生は授業に臨む際に前もって準備を行うことができますし、記載されている評価方法に向けての学修などを行うこともできます。

シラバスを作成する過程で、教員が自らの行う授業の内容、評価方法などの具体的構造を見直すことができ、自分の授業を見直す良い機会になります。

皆さんには、このシラバスを活用して、悔いのない学生生活を送っていただくようお願いします。

平成28年度 シラバス

科目名	犬学		担当者	井田	学科	ペット総合科	開講期	前期						
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	月(火)						
授業の概要	犬の歴史・生態・習性や人との関係を覚える。													
学習目的	犬本来の能力について覚える。													
学習目標	犬の社会性・適応を学ぶことによって、動物に対しての人としての社会性も身につける。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	スタンダードとドッグ・ショー		ケネル・クラブ、犬種用途、血統書について				最新犬種図鑑							
第2回	グループ制		J K C 第1～第10グループについて、犬種標準とは。				最新犬種図鑑							
第3回	イヌについて		イヌ学の重要性				イラストでみる犬学							
第4回	家畜化の起源と歴史		犬種の多様な品種、進化について				イラストでみる犬学							
第5回	イヌの起源		オオカミからイヌへ				イラストでみる犬学							
第6回	野生のイヌ科動物の分類と分布		世界の野生のイヌ科動物について				イラストでみる犬学							
第7回	食肉目としての特徴		イヌ科動物の特性				イラストでみる犬学							
第8回	ヒトとのかかわり		ペット化の歩み、ヒトに与える心理的影響				イラストでみる犬学							
第9回	形態の馴化現象		複雑な変化				イラストでみる犬学							
第10回	遺伝からみた犬		イヌの改良・新しい品種について				イラストでみる犬学							
第11回	イヌの五感覚（聴覚・視覚）		イヌの聴覚・視覚について				イラストでみる犬学							
第12回	イヌの五感覚 (嗅覚・味覚・触覚)		イヌの嗅覚・味覚・触覚について				イラストでみる犬学							
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明							
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験							
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説							
教科書	最新犬種図鑑、イラストでみる犬学													
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	犬種学 I		担当者	小林	学科	ペット総合科	開講期	前期						
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	水(木)						
授業の概要	各グループの犬種の、原産国、歴史、サイズなどを覚える。（J K C登録数上位50位までの犬種を対象）													
学習目的	種類によるグループ分けから、習性や特徴を覚える。													
学習目標	犬のスタンダードの知識習得し、適切なアドバイスができるようになる。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	第1グループ		シープドッグ&キャトルドッグ（スイス・キャトル・ドッグを除く） ボーダーコリー、コリー（ラフ）、ジャーマン・シェパード・ドッグ、 オールド・イングリッシュ・シープ・ドッグ、シェットランドシープドッグ				最新犬種図鑑							
第2回	第1・第2グループ		シープドッグ&キャトルドッグ（スイス・キャトル・ドッグを除く） ウェルシュコギー（ペンブローク） ピンシャー＆シュナウザー、モロシアン犬種 スイス・マウンテン・ドッグ&スイスキャトル・ドッグ、関連犬種 バーニーズマウンテンドッグ、ボクサー、ブルドッグ、ドーベルマン				最新犬種図鑑							
第3回	第2グループ		ピンシャー＆シュナウザー、モロシアン犬種 スイス・マウンテン・ドッグ&スイスキャトル・ドッグ、関連犬種 グレート・デン、グレート・ビレニーズ、ミニチュア・ピンシャー、 ミニチュア・シュナウザー、セントバーナード				最新犬種図鑑							
第4回	第3グループ		テリア エアデールテリア、ベドリントン・テリア、ジャクラッセルテリア、 ケリー・ブルー・テリア、ミニチュアブルテリア				最新犬種図鑑							
第5回	第3グループ・第4グループ		テリア ノーフォークテリア、ノーリッチ・テリア、スコティッシュ・テリア、 ウェストハイランドホワイトテリア、ワイアーフォックステリア				最新犬種図鑑							
第6回	第4・第5グループ		ダックスフンド ダックスフンド（カニーンヘン・ミニチュア・スタンダード） スピッツ&プリミティブ・タイプ 秋田・アメリカン・アキタ、チャウ・チャウ、				最新犬種図鑑							
第7回	第5グループ		スピッツ&プリミティブ・タイプ 日本スピッツ、甲斐、紀州、柴、シベリアンハスキー				最新犬種図鑑							
第8回	第6グループ・第7グループ		セントハウンド&関連犬種 バセット・ハウンド、ビーグル、ダルメシアン ポインティング・ドッグ アイリッシュセター、ワイマラナー				最新犬種図鑑							
第9回	第8グループ		レトリーバー、フラッシング・ドッグ、ウォータードッグ アメリカンコッカースパニエル、イングリッシュコッカースパニエル、 フラットコートreddleトリーバー ゴールデンレトリーバー、ラブラドールレトリーバー				最新犬種図鑑							
第10回	第9グループ		トイ＆コンパニオンドッグ ビションフリーゼ、ブリュッセルグリフォン、ボストンテリア キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル				最新犬種図鑑							
第11回	第9グループ・第10グループ		トイ＆コンパニオンドッグ 狛、チャイニーズ・クレストeddドッグ、フレンチ・ブルドッグ、 サイト・ハウンド アフガンハウンド、ボルゾイ				最新犬種図鑑							
第12回	第10グループ まとめ		サイト・ハウンド イタリアングレーハウンド、サルーキー、ウィペット 第1～第10グループのまとめ				最新犬種図鑑							
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明							
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験							
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説							
教科書	最新犬種図鑑													
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	小動物概論 I		担当者	田邊	学科	ペット総合科	開講期	後期
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	月(火)
授業の概要	犬・猫以外での動物の生態を学ぶことにより、エキゾチックアニマルと呼ばれる分野の知識を覚える。							
学習目的	幅広い動物の生態を学ぶことで、動物のスペシャリストになる。							
学習目標	愛玩動物飼養管理士の合格レベル、知識を覚える。 動物看護士試験の合格レベル、知識を覚える。							

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	生物の世界 動物の世界	生物の分類 種の概念	
第2回	動物の分類	分類階級、属、学名 種の下の分類単位	
第3回	無脊椎動物の分類	節足、棘皮、軟体、刺胞、動物など	
第4回	昆虫の世界	不完全変態 完全変態	
第5回	動物の分布	旧北区～東洋区 エチオピア区、 新北区、新熱帯区、オーストラリア区	
第6回	哺乳類（1）	単孔類、有袋類 有袋類～靈長目 牛海目、被甲目、有毛目 灵長目	
第7回	哺乳類（2）	ウサギ目、齧歯目① 齧歯目② トガリネズミ目	
第8回	哺乳類・鳥類	鯨偶蹄目① 鯨偶蹄目②、有鱗目 肉食目①ネコ科 肉食目②、イタチ科、 クマ科 肉食目③、鰐脚類 奇蹄目、翼手目	
第9回	鳥類（1）	鳥類の概要 日本の野鳥、走鳥類 キジ目、カモ目	
第10回	鳥類（2）	ハト目、コウノトリ目、ペリカン目、 ミズナギトリ目 インコ目 スズメ目	
第11回	爬虫類	概要 カメ目・有鱗目 ワニ目	
第12回	両生類・魚	概要	
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習	試験範囲説明
第14回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験	単位認定試験
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説	試験解説
教科書			
参考書			
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。		
履修のポイント			
オフィス・アワー			

平成28年度 シラバス

科目名	水生生物 I		担当者	細川	学科	ペット総合科	開講期	前期						
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1 年次	曜日	月						
授業の概要	アクアリウムの中でも一般的な鑑賞魚や水草を学び、熱帯魚や水草にとっての環境（光・酸素・二酸化炭素など）を覚える。													
学習目的	癒しやインテリアとして需要が多くなっているアクアリウムの基本を覚える。													
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯魚の種類を覚える。 ・水生生物特有の病気についてを覚える。 ・日本原産の観賞魚と海外産の観賞魚の歴史についてを覚える。 													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	アクアリウム		ペットとアクアリウム											
第2回	アクアリウムの語源		歴史・養魚から観賞魚へ											
第3回	魚の活動		生息環境と水											
第4回	飼育について		硬度と水温											
第5回	観賞魚と食用魚		魚の外観と特徴・名称 体長と体高 観賞魚と食用魚の違い											
第6回	魚の臓器とその働き		皮膚と鱗 エラ 内臓器について											
第7回	魚の感覚器		色・形・距離・味覚・臭覚・振動・水流・水圧											
第8回	金魚について		金魚の種類と品種改良 飼育の歴史、日本での生産地											
第9回	錦鯉について		錦鯉の品種改良と歴史、選別と越冬 色揚げ・スピルリナ・鱗の優勢											
第10回	熱帯魚について（1）		コイの仲間 特徴・食性・繁殖・分布 ナマズとドジョウの仲間 特徴・食性・繁殖・分布											
第11回	熱帯魚について（2）		カラシン目について ピラニア・テトラ・カラシン メダカの仲間 卵胎生魚性転換											
第12回	熱帯魚について（3）		シクリッドの仲間について 繁殖・分布・特徴 アナバス・汽水魚・古代魚について 戦魚・肺魚・乾眼											
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明							
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験							
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説							
教科書														
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	解剖学		担当者	田中	学科	ペット総合科	開講期	前期						
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	木						
授業の概要	犬・猫を中心とした動物の体の仕組みを勉強し、肉食動物と草食動物、生活環境に適した生態毎の違いを覚える。 犬・猫を中心とした動物の体の構造、骨格筋系、呼吸器系・消化器系・循環器系・内分泌系・神経及び感覚器系の機能を理解し、肉食動物と草食動物、生活環境に適した生体毎の違いを覚える。													
学習目的	動物の体の仕組みを学ぶことで、飼育方法や病気などの他の分野の基礎を確実に答える。													
学習目標	・愛玩動物飼養管理士の合格レベル、知識を覚える。 ・2年次の各コースの基礎となることを覚える。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	体のしくみ		体の成り立ち											
第2回	外皮系、骨格・筋肉		体を包むもの、体を支え動かす											
第3回	消化器系		栄養をとりいれる・消化液											
第4回	消化器系		食べ物の通り道・吸収された栄養分の使われ方											
第5回	呼吸器系		酸素を取り入れる・空気を体に運び込む											
第6回	心血管系		血液中を流れるもの、血液を送り出す											
第7回	リンパ組織		リンパ管											
第8回	腎臓・肝臓		老廃物の排出・人体の化学工場											
第9回	感覚器		視覚・聴覚・味覚・嗅覚											
第10回	神経系		神経の働き、中枢神経・末梢神経											
第11回	内分泌系		ホルモンの働き											
第12回	生殖器系		こどもを産み育てる											
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明							
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験							
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説							
教科書	愛玩動物飼養管理士教本、犬・猫の詳しい病気													
参考書	認定看護教本													
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	公衆衛生	担当者	田中	学科	ペット総合科	開講期	後期						
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日 時限						
授業の概要	動物とよりよい関係を築く為に必要な、感染症や消毒方法などの知識を覚える。												
学習目的	衛生上の危害や発生を防止する分野の基礎を覚える。												
学習目標	愛玩動物飼養管理士の合格レベルの知識を覚える。												
授業計画													
回	主題	授業内容				備考							
第1回	公衆衛生概論	公衆衛生とは											
第2回	人獣共通感染症（1）	狂犬病、インフルエンザ、猫ひつかき病、外傷性パストルラ症											
第3回	人獣共通感染症（2）	破傷風、トキソバクタム症、レボトスピラ症、サルモネラ症											
第4回	人獣共通感染症（3）	カム病、腸管出血性大腸菌感染症、カンピロバクタ-腸炎、ブルセラ症											
第5回	人獣共通感染症（4）	ベリコバクタ-・ヒッポ感染症、幼虫移行症、アニサギ症、エキノコックス症											
第6回	人獣共通感染症（5）	トリフットボリジカム症、マダニの媒介するズーニシス、サルから感染するズーニシス											
第7回	人獣共通感染症（6）	ウサギから感染するズーニシス、小型ゲッ歯類から感染するズーニシス											
第8回	滅菌・消毒（1）	院内感染の危険性について											
第9回	滅菌・消毒（2）	滅菌方法について、消毒薬の種類											
第10回	動物防疫学（1）	動物の輸出入とは											
第11回	動物防疫学（2）	動物検疫の目的と方法について											
第12回	動物防疫学（3）	集団感染を防ぐ目的と方法について											
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習				試験範囲説明							
第14回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験				単位認定試験							
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説				試験解説							
教科書	健康管理学												
参考書													
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。												
履修のポイント													
オフィス・アワー													

平成28年度 シラバス

科目名	動物関連法規		担当者	松永	学科	ペット総合科	開講期	前期							
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	火・木							
授業の概要	動物業界、動物医療の関連法規を覚える。														
学習目的	仕事をする上での法律を覚える。														
学習目標	愛玩動物飼養管理士の合格レベルの知識を覚える。 動物看護士試験の合格レベルの知識を覚える。														
授業計画															
回	主題	授業内容					備考								
第1回	狂犬病予防法	狂犬病について、法律の目的													
第2回	身体障害者補助犬法	補助犬の種類と国民の協力													
第3回	動物愛護の歴史	江戸から平成、虐待と遺棄													
第4回	動愛法（1）	目的、愛護週間、基本指針、個体識別													
第5回	動愛法（2）	動物取扱業、動物取扱責任者													
第6回	動愛法（3）	実験動物、産業動物													
第7回	動愛法（4）	特定動物、罰則													
第8回	外来生物法	外来生物の種類、外来生物の取り扱い													
第9回	ペットフード法	ペットフードの内容に関する概要													
第10回	ワシントン条約	種の保存、鳥獣法													
第11回	その他の関連法規（1）	獣医師法、麻薬取締法													
第12回	その他の関連法規（2）	個人情報保護法、労働基準、労働安全衛生													
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習					試験範囲説明								
第14回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験					単位認定試験								
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説					試験解説								
教科書	愛玩動物飼養管理士教本														
参考書															
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。														
履修のポイント															
オフィス・アワー															

平成28年度 シラバス

科目名	グルーミング基礎学		担当者	小林	学科	ペット総合科	開講期	通期							
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	1年次	曜日	火 時限 1 (2)							
授業の概要	グルーミングの必要性と目的、効果。グルーミングを行う上での犬体の構造、獣医学、衛生と消毒、各種専門用語を覚える。														
学習目的	ビジネスとして仕事をしていくうえで、グルーマーとしてお客様に満足していただける技術や心構えを身につける。 また、お客様から信頼されるトリマーの知識を覚える。														
学習目標	1. グルーマーとしての技術と知識、心得 2. グルーミングの必要性、目的、効果 3. 犬の扱い 4. 道具の扱い方 を熟知し、実技授業に活かす。														
授業計画															
回	主題	授業内容				備考									
第1回	道具の説明（1）	道具の説明、取り扱い＜スリッカー・ブラシ、ピン・ブラシ、コーム＞				トリマーの基礎知識教本 P42~47 ブラシ類、コーム									
第2回	ブラッシング・コーミングの演習 リボン作りの説明、材料等について	シート・ウィッグを使用しての練習				シートウィッグ、ブラシ類、コーム ラッピング用品									
第3回	道具の説明（2）	道具の説明、取り扱い＜爪切り、カンシ＞ カンシを綿棒代用の演習				トリマーの基礎知識教本 P61~63 爪切り、カンシ、綿花									
第4回	道具の説明（3）	道具の説明、取り扱い＜はさみ類、トリミング・ナイフ＞ はさみの保定方法（持ち方の練習）				トリマーの基礎知識教本 P48~55 ミニ・ハサミ									
第5回	シザーの種類と構造	ハサミの各部の名称、構造、種類 はさみの保定方法（持ち方の練習）				トリマーの基礎知識教本 P48~53 ミニ・ハサミ									
第6回	道具の説明（4）	道具の説明、取り扱い＜クリッパー＞ クリッパーの作動確認、分解掃除方法演習				トリマーの基礎知識教本 P56~59 クリッパー、ブレイド、オイル									
第7回	衛生と消毒	器具や着衣などの衛生面と消毒方法				トリマーの基礎知識教本 P42~55 全美容道具									
第8回	道具の説明（5）	その他に道具について													
第9回	こんな時どうする？	事故を未然に防ぐために、トリミング前の異常と対処				トリマーの基礎知識教本 P22~23									
第10回	グルーマーの獣医学	グルーマーとして、病気の早期発見ができる				トリマーの基礎知識教本 P24~25									
第11回	犬のアクシデント	アクシデントが起こった場合の対処				トリマーの基礎知識教本 P28~29									
第12回	信頼されるトリマー	お客様から信頼されるトリマーになるために必要なこと				トリマーの基礎知識教本 P30~32									
第13回	J K C各種ライセンスの説明 リボン作りの方法	J K Cで取得可能なライセンス取得・更新・義務研修について 手作りリボンの制作方法を覚え、作れるようになる				リボン材料、プリント									
第14回	日常のケア	基本的なお手入れ方法について				トリマーの基礎知識教本 P64~67									
第15回	犬体用語（1）	犬体各部の専門用語 頭部、耳、鼻													
第16回	犬体用語（2）	犬体各部の専門用語 目、吻、頸													
第17回	犬体用語（3）	犬体各部の専門用語 脚、腰尻、肢													
第18回	犬体用語（4）	犬体各部の専門用語 肢勢、尾													
第19回	犬体用語（5）	犬体各部の専門用語 被毛													
第20回	犬体用語（6）	犬体各部の専門用語 毛色													
第21回	犬体用語（7）	犬体各部の専門用語 歩様													
第22回	グルーミング用語（1）	グルーミングに対する専門用語①													
第23回	グルーミング用語（2）	グルーミングに対する専門用語②													
第24回	グルーミング用語（3）	グルーミングに対する専門用語③													
第25回	グルーミング用語（4）	グルーミングに対する専門用語④													
第26回	シャンプー・リンス剤の役割	シャンプー・リンス剤の役割と汚れを落とす仕組み													
第27回	シャンプー・リンスの効果について	シャンプー・リンス剤の種類と効果													
第28回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習				試験範囲説明									
第29回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験				単位認定試験									
第30回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説				試験解説									
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング（トリマーの基礎知識）、最新犬種図鑑														
参考書															
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。														
履修のポイント															
オフィス・アワー															

科目名	犬種別トリミング学Ⅰ		担当者	矢田	学科	ペット総合科	開講期	通期											
区分	ペット基礎	必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	1年次	曜日	水(木)											
	理論						時限	1											
授業の概要	犬種別のグルーミング法。トリミングの基礎であるベーシックを学習。短毛犬種、中型犬種、大型犬種など、犬種別のトリミングを覚える。																		
学習目的	爪切りなど基本的技術を身につけ、多くの犬種のベーシックができるようになる。イラストや粘土細工など、平面や立体的にものを見ることにより、深い知識をつける。																		
学習目標	前期は多くの犬種のベーシックが確実にできるようになる。 後期は長毛犬種のラッピング、サマーカットができるようになる。																		
授業計画																			
回	主題	授業内容					備考												
第1回	グルーミングの必要性	なぜ、手入れが必要か？ トリマー（グルーマー）の心得					トリマーの基礎知識 P. 34～35												
第2回	犬の体のつくり 犬体名称	グルーミングを行う上で必要な体温・脈拍・呼吸数を覚える 犬の主な犬体部位名称					トリマーの基礎知識 P. 8～11												
第3回	骨格名称、美容的な名称 モデル犬の取り扱い方①	骨格・美容的な名称 モデル犬の正しい取り扱い方法・留意点を覚える					トリマーの基礎知識 P. 12～13、 P. 37～39												
第4回	モデル犬の取り扱い方②	モデル犬の正しい取り扱い方法・留意点を覚える					トリマーの基礎知識 P. 40～41												
第5回	被毛と皮膚、耳の構造、歯列・咬合について	犬の被毛・皮膚の構造、耳の構造、歯列・咬合を覚える					トリマーの基礎知識 P. 17～21												
第6回	大型犬種のトリミング方法	大型犬の基本的な無駄毛の処理、ひげカット ラブラドールレトリーバー、ゴールデンレトリーバー バーニーズ・マウンテン・ドッグ、 グレート・ビレニーズ・マウンテンドッグ																	
第7回	中・短毛種の小型・中型犬種のトリミング方法	小型・中型犬の基本的な無駄毛の処理、ひげカット シェットランド・シープドッグ、狛、ダックス・フンド、 ウェルシュ・コギー、ベキニーズ、パピヨン等																	
第8回	マルチーズのグルーミング方法 ヨークシャー・テリアのグルーミング方法	マルチーズ（スタンダードとトリミング方法） ヨークシャー・テリア（スタンダードとトリミング方法）																	
第9回	ポメラニアンの基本トリミング（1）	スタンダード 足回り、耳先、お尻周りのカット																	
第10回	ポメラニアンの基本トリミング（2）	アンダー・ライン、尾輪の付け根、パンティー・フェザーのカット																	
第11回	プードル犬種のトリミング方法（1）	スタンダード ベーシック・クリップ（顔部）																	
第12回	プードル犬種のトリミング方法（2）	ベーシック・クリップ（足先、下腹部、尾輪）																	
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習					試験範囲説明												
第14回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験					単位認定試験												
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説					試験解説												
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング（トリマーの基礎知識）、最新犬種図鑑																		
参考書																			
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物＆授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。																		
履修のポイント																			
オフィス・アワー																			

平成28年度 シラバス

科目名	犬種別トリミングⅡ-2		担当者	五郎畠	学科	ペット総合科 トリマーコース	開講期	後期
区分	トリマー分野 理論	選択必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	月、火
授業の概要	専門的な犬種別トリミング方法、JKCライセンス取得クリップスタイルを覚える。							
学習目的	より深く犬種を知り、犬種にあった専門的なトリミング方法を覚える。							
学習目標	1. JKCトリマーライセンスC級合格レベルの知識を身につける。 2. シザーリング、スイニング、ブラッキング犬種のトリミングの知識を身につける。							
授業計画								
回	主題	授業内容	備考					
第1回	マルチーズ サマー・カット①	パピー・タイプの頭部カット方法について						
第2回	マルチーズ サマー・カット②	ボディーのカット方法について						
第3回	ヨークシャー・テリア サマー・カット	頭部&ボディーのカット方法について						
第4回	シーズー スタンダード・頭部カット	頭部&ボディーのカット方法について						
第5回	マルチーズ サマー・カット イラストの描き方 プードル犬種について①	マルチーズ サマー・カットの側望イラストの描き方・注意点、プードル種全般について(歴史・沿革・クリップの由来・クリッピング時の注意点等)						
第6回	プードル犬種について②	プードル種全般について(好まれる理由、トリミングの手順、シャンプー&ドライинг時の注意点、カッティング&チッピング時の注意点、耳&四肢の付属形、ムスタッッシュの種類等)						
第7回	プードル ベーシック・クリップ (Uネック)	ベーシック・クリッピング(Uネック)の方法						
第8回	プードル ベルジアン・クリップの描き方・注意点 長毛種のラッピング方法	基本となる裸(ベルジアン・クリップ)の描き方・注意点						
第9回	ポメラニアン サマー・カット①	サマー・カットのバリエーション①						
第10回	ポメラニアン サマー・カット②	サマー・カットのバリエーション②						
第11回	プードル ケネル&ラム・クリップ①	ケネル&ラム・クリップ トリミング方法①						
第12回	プードル ケネル&ラム・クリップ②	ケネル&ラム・クリップ トリミング方法②						
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習						
第14回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験						
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説、総まとめ						
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング(トリマーの基礎知識)、最新犬種図鑑							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント								
オフィス・アワー								

平成28年度 シラバス

科目名	基礎看護学		担当者	北村	学科	ペット総合科	開講期	後期						
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	木						
授業の概要	動物関係の仕事に就く上で犬・猫の必要最低限の看護知識を覚える。													
学習目的	必要最低限の看護知識・応急処置法を身につける。													
学習目標	動物が緊急事態に陥った時に最低限の応急処置が行える。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	この授業について バイタルサイン①		この授業の進み方 バイタルサインとは 【 T(体温) P(脈拍) 】											
第2回	バイタルサイン②		バイタルサインとは 【 R(呼吸) 】											
第3回	バイタルサイン③		バイタルサイン (CRT・粘膜色)											
第4回	応急処置対応①		心肺蘇生 A(気道確保) B(人工呼吸) C(循環)											
第5回	応急処置対応②		交通事故											
第6回	応急処置対応③		輸送について 創傷の種類と手当て											
第7回	応急処置対応④		止血方法・骨折の種類と手当て											
第8回	応急処置対応⑤		ショック・ケイレン発作、眼球突出、熱中症の手当て											
第9回	予防医学①		ワクチンについて①(犬)											
第10回	予防医学②		ワクチンについて②(狂犬病・猫)											
第11回	予防医学③		フィラリア・ノミ・マダニについて											
第12回	予防医学④		避妊手術・去勢手術											
第13回	予防医学⑤		日常のケアで防げる疾病・ケガ				試験範囲説明							
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験							
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説							
教科書	コンパニオンアニマルの新・健康管理学													
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	愛玩動物飼養管理学		担当者	松永	学科	ペット総合科	開講期	通期						
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	1年次	曜日	火【水・木】						
授業の概要	愛玩動物飼養管理士試験【2級】に関連する内容を覚える。													
学習目的	愛玩動物飼養管理士2級の合格レベル、知識を覚える。													
学習目標	愛玩動物飼養管理士2級に合格する。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	愛玩動物飼養管理士学（1）		愛玩動物使用管理士の社会活動											
第2回	愛玩動物飼養管理士学（2）		動物愛護論 I ①											
第3回	愛玩動物飼養管理士学（3）		動物愛護論 I ②											
第4回	愛玩動物飼養管理士学（4）		人と動物の関係学 ①											
第5回	愛玩動物飼養管理士学（5）		人と動物の関係学 ②											
第6回	愛玩動物飼養管理士学（6）		動物関係法令概要 I ①											
第7回	愛玩動物飼養管理士学（7）		動物関係法令概要 I ②											
第8回	愛玩動物飼養管理士学（8）		動物関係法令概要 I ③											
第9回	愛玩動物飼養管理士学（9）		動物関係法令概要 II ①											
第10回	愛玩動物飼養管理士学（10）		動物関係法令概要 II ②											
第11回	愛玩動物飼養管理士学（11）		動物関係法令概要 II ③											
第12回	愛玩動物飼養管理士学（12）		動物の飼養管理 I ①											
第13回	愛玩動物飼養管理士学（13）		動物の飼養管理 I ②											
第14回	愛玩動物飼養管理士学（14）		動物の飼養管理 I ③											
第15回	愛玩動物飼養管理士学（15）		動物の飼養管理 II ①											
第16回	愛玩動物飼養管理士学（16）		動物の飼養管理 II ②											
第17回	愛玩動物飼養管理士学（17）		動物の飼養管理 II ③											
第18回	愛玩動物飼養管理士学（18）		動物のしつけ ①											
第19回	愛玩動物飼養管理士学（19）		動物のしつけ ②											
第20回	愛玩動物飼養管理士学（20）		総復習 試験対策 ①											
第21回	愛玩動物飼養管理士学（21）		総復習 試験対策 ②											
第22回	愛玩動物飼養管理士学（22）		総復習 試験対策 ③											
第23回	愛玩動物飼養管理士学（23）		総復習 試験対策 ④											
第24回	栄養学の基礎知識 5大栄養素（1）		水・エネルギー・脂質											
第25回	5大栄養素（2）		ビタミン・ミネラル											
第26回	5大栄養素（3）		タンパク質・炭水化物											
第27回	栄養状態の評価法		総エネルギー、可消化エネルギー、代謝エネルギー、基礎エネルギー要求量、安静時エネルギー要求量、維持エネルギー要求量、1日エネルギー要求量、水分要求量											
第28回	ペットフード（1）		フードの種類、ライフステージ、											
第29回	ペットフード（2）		ライフステージ											
第30回	ペットフード（3）		与えてはいけない食べ物											
教科書	愛玩動物飼養管理士【2級】教本 第1・2巻													
参考書														
成績評価	各項目では、理解力テストを行う。 単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 理解力テスト点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント	愛玩動物飼養管理士資格試験受験後につき、学年末試験はなし													
オフィス・アワー	各項目では、理解力テストを行う。													

平成28年度 シラバス

科目名	動物行動学 I		担当者	松永	学科	ペット総合科	開講期	後期									
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1 年次	曜日	火									
							時限	2、3									
授業の概要	犬・猫種による行動の異なりから、成長段階にみられる行動を覚える。																
学習目的	それぞれの対応を学び、固体における基本的な行動の意義・機序を理解し飼い主指導に活かす。																
学習目標	行動をそれぞれの分類に分けて考えることで、問題行動についてのしつけを理解し、適正飼養と人と動物の共存に寄与することができる。																
授業計画																	
回	主題	授業内容					備考										
第1回	行動学の歴史（1）	メンデル、ダーウィン、ファーブル他															
第2回	行動学の歴史（2）	パブロフ条件とレスポデント															
第3回	行動学の歴史（3）	反射と走性															
第4回	行動学の歴史（4）	犬種分け															
第5回	行動生態（1）	遺伝要因															
第6回	行動生態（2）	後天性学習															
第7回	行動生態（3）	社会行動															
第8回	行動生態（4）	機能分類①															
第9回	行動生態（5）	機能分類②															
第10回	行動生態（6）	機能分類③															
第11回	行動学的問題行動（1）	推測と予想															
第12回	行動学的問題行動（2）	目的と行動															
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習					試験範囲説明										
第14回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験					単位認定試験										
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説					試験解説										
教科書																	
参考書																	
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。																
履修のポイント																	
オフィス・アワー																	

平成28年度 シラバス

科目名	家庭犬訓練 I		担当者	小泉	学科	ペット総合科	開講期	前期							
区分	ペット基礎 実習	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日 時限	木 1 (2)							
授業の概要	犬とのふれ合いから、基本となる訓練方法を覚える。														
学習目的	犬のコントロール方法を覚える。														
学習目標	病院、ショップで必要な訓練の実践ができる。														
授業計画															
回	主題	授業内容				備考									
第1回	授業の進め方 初対面のワンちゃんとの接し方	モデル犬との接し方、実習中の注意事項（事故予防）、成績について 初めて会う犬との接し方を覚える													
第2回	訓練からみた犬の起源 基本的な用具の取り扱い方	訓練からみた犬の起源、リードの扱い方とカラーの選び方 補助犬との訓練の違い、ケージへの出し入れ方法を覚える													
第3回	訓練からみた犬の歴史 アイコンタクト（1）	訓練からみた犬の家畜化・共生・進化について Y e s の使い方、アイコンタクト（ステップ1）を覚える													
第4回	選択交配 アイコンタクト（2）	人間社会に奉仕・貢献する犬 アイコンタクト（ステップ2、3）を覚える													
第5回	犬の学習（1）	観察による学習、古典的条件づけ 声符について、ワーク・アップ													
第6回	犬の学習（2）	道具的条件づけ 視符、体符について、サイド・ポジションの方法を覚える													
第7回	犬の学習（3）	強化スケジュール、反応形成、消去 リードの扱い方、ヒール													
第8回	犬の感覚（1）	嗅覚について ダウソ、スタンド													
第9回	犬の感覚（2）	視覚について ウェイト、カム													
第10回	犬の感覚（3）	聴覚・味覚について ドアの出入り練習													
第11回	犬の感覚（4）	触覚について 歩様について、実技テスト													
第12回	犬の先天的な能力（1）	固定行動パターン ディレクション・ゲーム①、実技テスト													
第13回	犬の先天的な能力（2）	ボディー・ランゲージ ディレクション・ゲーム②、実技テスト				試験範囲説明									
第14回	復習、試験実施	復習、試験実施 ディレクション・ゲーム③、実技テスト				単位認定試験									
第15回	授業を終えて	試験の解説 オモチャを使っての遊び方				試験解説									
教科書															
参考書															
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物＆授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。														
履修のポイント															
オフィス・アワー	1組（前期）、2組（後期）に分けて、半期ずつ履修														

平成28年度 シラバス

科目名	グルーミング実習Ⅰ		担当者	井田・小林・矢田・小倉・山田 ・小山・三木・生田・高浪	学科	ペット総合科	開講期	通期							
区分	ペット基礎 実習	必須	単位 (時間)	9 (270)	学年	1年次	曜日	水(金) 時限 2~4							
授業の概要	基本的なグルーミング技術を覚える。														
学習目的	基本的なグルーミング方法を身に付ける。														
学習目標	基本グルーミング・ベーシッククリッピング技術の習得し、目標時間内に仕上げる。														
授業計画															
回	主題	授業内容					備考								
第1回	自己紹介 美容用具の配布・確認 美容実習授業の一日の流れ	自己紹介（氏名・志望選択コース・飼養動物種のリサーチ） 美容用具の配布と種類の確認 美容実習室内の設備使用にあたっての注意事項													
第2回	美容実習授業時の注意点 ドッグ・ショーカットの事前学習	実習時の服装・態度・準備物・注意事項を覚える JKCドッグ・ショーの進行方法・審査方法													
第3回	ドッグ・ショーカットについて 美容実習授業の流れ	ドッグ・ショーカット見学研修前に事前学習 トーナメント方式、年齢別クラス区分、マナー等 美容実習室内の設備使用について													
第4回	モデル・グルーミング 実技 短毛種（1）	ベーシック実習のモデルグルーミング チワワ（4頭…2教室に分かれる）教員仕上げ チワワ（スムース・ヘアード）、学生2名で1頭仕上げ													
第5回	実技 中毛種（1）	チワワ（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ													
第6回	実技 その他の短毛種（1）	柴、ジャック・ラッセル・テリア、ブルドッグ等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（3頭）													
第7回	実技 短毛種（2）	チワワ（スムース・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ（3頭）													
第8回	実技 中毛種（2）	チワワ（ロング・ヘアード）、ダックスフンド（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（5頭）													
第9回	実技 その他の中毛種（1）	ペキニーズ、狆、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（5頭）													
第10回	実技 その他の中毛種（1） 大型犬	フラット・コーテッド・レトリーバー、ゴールデン・レトリーバー シェットランド・シープドッグ、ブリュッセル・グリフォン等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（5頭）													
第11回	実技 短毛種（3）	チワワ（スムース・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ（8頭）													
第12回	実技 中毛種（3）	チワワ（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（8頭）													
第13回	実技 その他の短毛種（2）	柴、ジャック・ラッセル・テリア、ブルドッグ等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（8頭）					確認テスト								
第14回	実技 短毛種（4）	チワワ（スムース・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ（10頭）					確認テスト								
第15回	実技 中毛種（4）	チワワ（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（10頭）													
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング（トリマーの基礎知識）、最新犬種図鑑														
参考書															
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。														
履修のポイント															
オフィス・アワー	注) 当日のモデル犬種により、授業内容が変更する場合があります。														

平成28年度 シラバス

科目名	グルーミング実習 I		担当者	井田・小林・矢田・小倉・山田 ・小山・三木・生田・高浪	学科	ペット総合科	開講期	通期						
区分	ペット基礎 実習	必須	単位 (時間)	9 (270)	学年	1年次	曜日 水(金)	時限 2~4						
授業の概要	基本的なグルーミング技術を覚える。													
学習目的	基本的なグルーミング方法を身に付ける。													
学習目標	基本グルーミング・ベーシッククリッピング技術の習得し、目標時間内に仕上げる。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第16回	実技 その他の中毛種 (2)		ベキニーズ、狆、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(10頭) 【トリマーコース】レッスンドッグ(シーズータイプ)のブラッシング①											
第17回	実技 その他の中毛種 (2) 大型犬		フラット・コーテッド・レトリーバー、ゴールデン・レトリーバー、シェットランド・シープドッグ、 ブリュッセル・グリフォン等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(10頭) 【トリマーコース】レッスンドッグ(シーズータイプ)のブラッシング② 【トリマーコース】レッスンドッグ(シーズータイプ)のブラッシング③											
第18回	実技 短毛種 (5)		チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ(15頭) 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー(サマーカット) 学生2名で1頭仕上げ(3頭)											
第19回	実技 中毛種 (5)		チワワ(ロング・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(15頭) 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー(サマーカット) 学生2名で1頭仕上げ(3頭)											
第20回	実技 その他の短毛種 (3)		柴、ジャック・ラッセル・テリア、ブルドッグ等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(15頭) 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー(サマーカット) 学生2名で1頭仕上げ(3頭)											
第21回	紙粘土細工 (1) 実技 短毛種 (6)		マルチーズのサマーカットを紙粘土で形作る チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ(20頭) 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー(サマーカット) 学生2名で1頭仕上げ(3頭)											
第22回	実技 中毛種 (6)		チワワ(ロング・ヘアード)・ダックスフンド(ロング・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(20頭) 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー(サマーカット) 学生2名で1頭仕上げ(3頭)											
第23回	実技 その他の中毛種 (3) レッスンドッグ演習 (1)		ボメラニアン(耳先、足回り、第1関節の裏側、尾の付け根、尻部、アンダーライン) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(10頭) 【トリマーコース】レッスンドッグ(シーズータイプ)でサマーカットを形作る(右半分)											
第24回	実技 短毛種 (7)		チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ(15頭) 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー(サマーカット) 学生2名で1頭仕上げ(3頭)											
第25回	実技 中毛種 (7)		チワワ(ロング・ヘアード)・ダックスフンド(ロング・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(15頭) 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー(サマーカット) 学生2名で1頭仕上げ(5頭)											
第26回	実技 その他の中毛種 (3) 大型犬		フラット・コーテッド・レトリーバー、ゴールデン・レトリーバー シェットランド・シープドッグ、ブリュッセル・グリフォン等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(10頭) 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー(サマーカット) 学生2名で1頭仕上げ(5頭)											
第27回	実技 中・短毛種 (8)		チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭(チワワ・ダックス・バビヨン・ボメ等)仕上げテスト(19頭)				実技テスト(1)							
第28回	実技 中・短毛種 (9)		チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭(チワワ・ダックス・バビヨン・ボメ等)仕上げテスト(19頭)				実技テスト(2)							
第29回	実技 中・短毛種 (10)		チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭(チワワ・ダックス・バビヨン・ボメ等)仕上げテスト(19頭)				実技テスト(3)							
第30回	実技 中・短毛種 (11)		チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭(チワワ・ダックス・バビヨン・ボメ等)仕上げテスト(19頭)				実技テスト(4)							
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング(トリマーの基礎知識)、最新犬種図鑑													
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー	注) 当日のモデル犬種により、授業内容が変更する場合があります。													

平成28年度 シラバス

科目名	美容実習 I		担当者	小林・矢田・小倉・山田・小山・三木・生田・高浪	学科	ペット総合科 トリマー・コース	開講期	後期						
区分	ペット基礎 実習	必須	単位 (時間)	3 (90)	学年	1年次	曜日	水						
授業の概要	基本的なグルーミング・ベーシック・カッティング技術を覚える。													
学習目的	基本的なグルーミング・ベーシック・カッティング方法を身に付ける。													
学習目標	基本グルーミング・ベーシック・クリッピング・カッティング技術の習得し、目標時間内に仕上げる。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	実技 長毛種カット (1)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(5頭)											
第2回	実技 長毛種カット (2)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(5頭)											
第3回	実技 長毛種カット (3)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(8頭)											
第4回	実技 長毛種カット (4)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(8頭)											
第5回	実技 長毛種カット (5)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(8頭)											
第6回	実技 長毛種カット (6)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(10頭)											
第7回	実技 長毛種カット (7)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(10頭)											
第8回	実技 長毛種カット (8)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(10頭)											
第9回	実技 長毛種カット (9)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(10頭)											
第10回	実技 長毛種カット (10)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(15頭)											
第11回	実技 長毛種カット (11)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(15頭)											
第12回	実技 長毛種カット (12)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(15頭)											
第13回	実技 長毛種カット (13)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(15頭) レッスン・ドッグ 仕上げテスト(18名)				レッスンドッグ 仕上げテスト							
第14回	実技 長毛種カット (14)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(15頭) レッスン・ドッグ 仕上げテスト(18名)				レッスンドッグ 仕上げテスト							
第15回	実技 長毛種カット (15)		マルチーズ・シーズー等(サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ(15頭) レッスン・ドッグ 仕上げテスト(18名)				レッスンドッグ 仕上げテスト							
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング(トリマーの基礎知識)、最新犬種図鑑													
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー	注) 当日のモデル犬種により、授業内容が変更する場合があります。													

平成28年度 シラバス

科目名	美容実習Ⅱ (トリマーコース)		担当者	五郎畠・井田・小林 矢田・小倉・山田 小山・生田	学科	ペット総合科 トリマー・コース	開講期	通期							
区分	ペット基礎 実習	必須	単位 (時間)	6 (180)	学年	2年次	曜日 時限	木 2~4							
授業の概要	各現場で通用するトリミング技術を覚える。														
学習目的	新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生から学んだ技術を後退させない。 時間短縮をより意識する。クリッピング時間の短縮。 JKCトリマーライセンス取得試験を意識した各犬種のトリミングができる。														
学習目標	指定時間(2時間)内に、モデル犬1頭を一人で仕上げるようになる。														
授業計画															
回	主題	授業内容					備考								
第1回	実技(プードル種1)	プードル種の足先(趾先)・尾軸の刈り方を覚える													
第2回	実技(プードル種2)	プードル種の顔部(Ｖネック)の刈り方を覚える													
第3回	実技(プードル種3)	プードル種の顔部(Ｕネック)の刈り方を覚える													
第4回	実技(プードル種4)	指(趾)止めカットの方法を覚える													
第5回	実技(プードル種5)	テディベアカットの体のトリミングを覚える													
第6回	実技(プードル種6)	テディベアカットの顔のトリミングを覚える													
第7回	実技(プードル種7)	テディベアカットの全体のシルエットを覚える													
第8回	実技(AMコッカー種1)	Aコッカーハウスの顔の刈り方を覚える													
第9回	実技(AMコッカー種2)	Aコッカーハウスの全体のトリミングを理解する													
第10回	紙粘土細工(2)	プードル種 ケネル&ラムクリップを紙粘土で形作る													
第11回	実技(ポメラニアン1)	ポメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える													
第12回	実技(ポメラニアン2)	ポメラニアンの柴犬・スタイルのカット方法を覚える													
第13回	実技(ポメラニアン3)	ポメラニアンのライオン・スタイルのカット方法を覚える													
第14回	実技(プードル種8)	ケネル&ラムの後肢の作り方を覚える					確認テスト								
第15回	実技(プードル種9)	ケネル&ラムの前肢の作り方を覚える					確認テスト								
第16回	実技(プードル種10)	ケネル&ラムの頭部の作り方を覚える													
第17回	実技(プードル種11)	ケネル&ラムの頸の作り方を覚える													
第18回	実技(プードル種12)	ケネル&ラムの全体的なバランスの作り方(長所・短所を見極める)を覚える													
第19回	実技(シュナウザー種1)	シュナウザーの顔の刈り方を覚える													
第20回	実技(シュナウザー種2)	シュナウザーの全体のトリミングを覚える													
第21回	実技(ビション1)	ビションフリーゼの顔のトリミングを覚える													
第22回	実技(ビション2)	ビションフリーゼの全体のトリミングを覚える													
第23回	実技(プードル種13)	ムースタッシュの作り方を覚える													
第24回	実技(プードル種14)	ベルトの入れ方を覚える													
第25回	実技(プードル種15)	チャンネルの入れ方を覚える													
第26回	実技(プードル種16)	バンドの入れ方を覚える													
第27回	実技(テリア種1)	プラッキングの方法を覚える													
第28回	実技(テリア種2)	ウエスティーの顔のトリミングを覚える													
第29回	実技(テリア種3)	ウエスティーの全体のトリミングを覚える					実技確認テスト								
第30回	実技(プードル種17)	プードル種のデザイン・カット(応用)を覚える					実技確認テスト								
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング(トリマーの基礎知識)、最新犬種図鑑														
参考書															
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。														
履修のポイント															
オフィス・アワー	注) 当日のモデル犬種により、授業内容が変更する場合があります。														

平成28年度 シラバス

科目名	美容実習Ⅱ (他コース用)		担当者	五郎畠・井田・小林 矢田・小倉・山田 小山・生田	学科	ペット総合科 アドバイザー・コース トレーナー・コース	開講期	通期						
区分	ペット基礎 実習	必須	単位 (時間)	6 (180)	学年	2年次	曜日	木						
授業の 概要	各現場で通用するグルーミング技術を覚える。													
学習 目的	新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生から学んだ技術を後退させない。 時間短縮により意識する。													
学習 目標	指定時間(2時間)内に、モデル犬1頭を一人で仕上げるようになる。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	実技	短毛種(1)	チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ											
第2回	実技	中毛種(1)	チワワ(ロング・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ											
第3回	実技	その他の短毛種(1)	柴、ジャック・ラッセル・テリア、ブルドッグ等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(1頭)											
第4回	実技	短毛種(2)	チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ(1頭)											
第5回	実技	中毛種(2)	チワワ(ロング・ヘアード)、ダックスフンド(ロング・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(1頭)											
第6回	実技	その他の中毛種(1)	ベキニーズ、狆、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(1頭)											
第7回	実技	その他の中毛種(1) 大型犬	フラット・コーテッド・レトリーバー、ゴールデン・レトリーバー ・シェットランド・シープドッグ、ブリュッセル・グリフォン等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(2頭)											
第8回	実技	短毛種(3)	チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ(2頭)											
第9回	実技	中毛種(3)	チワワ(ロング・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(2頭)											
第10回	実技	その他の短毛種(2)	柴、ジャック・ラッセル・テリア、ブルドッグ等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(3頭)											
第11回	実技	短毛種(4)	チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ(3頭)											
第12回	実技	中毛種(4)	チワワ(ロング・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(3頭)											
第13回	実技	その他の中毛種(2)	ベキニーズ、狆、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(3頭)											
第14回	実技	その他の中毛種(2) 大型犬	フラット・コーテッド・レトリーバー、ゴールデン・レトリーバー ・シェットランド・シープドッグ、ブリュッセル・グリフォン等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(3頭)				確認テスト							
第15回	実技	短毛種(5)	チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ(4頭)				確認テスト							
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング(トリマーの基礎知識)、最新犬種図鑑													
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修の ポイント														
オフィス ・アワー	注) 当日のモデル犬種により、授業内容が変更する場合があります。													

平成28年度 シラバス

科目名	美容実習Ⅱ (他コース用)		担当者	五郎畠・井田・小林 矢田・小倉・山田 小山・生田	学科	ペット総合科 アドバイザー・コース トレーナー・コース	開講期	通期						
区分	ペット基礎 実習	必須	単位 (時間)	6 (180)	学年	2年次	曜日	木						
授業の 概要	各現場で通用するグルーミング技術を覚える。													
学習 目的	新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生から学んだ技術を後退させない。 時間短縮をより意識する。													
学習 目標	指定時間(2時間)内に、モデル犬1頭を一人で仕上げるようになる。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第16回	実技	中毛種(5)	チワワ(ロング・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(4頭)											
第17回	実技	その他の短毛種(3)	柴、ジャック・ラッセル・テリア、ブルドッグ等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(4頭)											
第18回	紙粘土細工(2)	好きな犬種を紙粘土で形作る				紙粘土・新聞紙他								
第19回	実技	短毛種(6)	チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ(5頭)											
第20回	実技	中毛種(6)	チワワ(ロング・ヘアード)・ダックスフンド(ロング・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(5頭)											
第21回	実技	その他の中毛種(3)	ポメラニアン(耳先、足回り、第1関節の裏側、 尾の付け根、尻部、アンダーライン) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(5頭)											
第22回	実技	短毛種(7)	チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ(6頭)											
第23回	実技	中毛種(7)	チワワ(ロング・ヘアード)・ダックスフンド(ロング・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(6頭)											
第24回	実技	その他の中毛種(3) 大型犬	フラット・コーテッド・レトリーバー、ゴールデン・レトリーバー・シェットランド・シープドッグ、ブリュッセル・グリフォン等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(7頭)											
第25回	実技	短毛種(8)	チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ(7頭)											
第26回	実技	中毛種(8)	チワワ(ロング・ヘアード)・ダックスフンド(ロング・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(8頭)											
第27回	実技	短毛種(9)	チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ(8頭)											
第28回	実技	短毛種(10)	チワワ(スムース・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ(9頭)											
第29回	実技	中毛種(8)	チワワ(ロング・ヘアード)・ダックスフンド(ロング・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(10頭)				実技テスト(1)							
第30回	実技	中毛種(8)	チワワ(ロング・ヘアード)・ダックスフンド(ロング・ヘアード) 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ(10頭)				実技テスト(2)							
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング(トリマーの基礎知識)、最新犬種図鑑													
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修の ポイント														
オフィス ・アワー	注) 当日のモデル犬種により、授業内容が変更する場合があります。													

平成28年度 シラバス

科目名	ビジネス・マナー	担当者	植月	学科	ペット総合科	開講期	後期						
区分	キャリア基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日 月 時限						
授業の概要	接客対応の基礎 『心づかい』『言葉づかい』などの実務知識を覚える。												
学習目的	基本的な接遇マナーを身に付け、多方面からのスキルを覚える。												
学習目標	サービス接遇検定3級合格												
授業計画													
回	主題	授業内容				備考							
第1回	サービス接遇 接客とは何か	サービスの意味、接客とは何かを覚える 効果的な自己紹介の仕方ができる											
第2回	サービススタッフの資質（1）	必要とされる要件 明るさと誠実さ・適切な判断と表現・身だしなみについてを覚える											
第3回	サービススタッフの資質（2）	従業要件 良識をもつ、適切な判断と表現、清潔感についてを覚える											
第4回	専門知識（1）	サービス知識 サービスの意義・機能・種類を覚える											
第5回	専門知識（2）	従業知識 商業用語・経済用語を覚える											
第6回	一般知識	社会常識を覚える 時事問題を知る											
第7回	対人技能（1）	一般的な人間関係を築く											
第8回	対人技能（2）	接遇知識、対人心理が理解できる 接遇者としてのマナーを心得る											
第9回	対人技能（3）	話し方、接遇用語を覚える 提示・説明の仕方を覚える											
第10回	対人技能（4）	服装 接遇者としての適切な服装を装う											
第11回	実務技能（1）	問題処理・環境整備についてを覚える											
第12回	実務技能（2）	金品管理・社交儀礼の業務ができる											
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習				試験範囲説明							
第14回	振り返り授業・試験実施	サービス接遇検定合格のポイント、受験				単位認定試験							
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説				試験解説							
教科書													
参考書													
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。												
履修のポイント													
オフィス・アワー													

平成28年度 シラバス

科目名	ビジネス電話検定		担当者	金森	学科	ペット総合科	開講期	後期								
区分	キャリア基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	月								
授業の概要							時限	2, 3								
授業の概要																
学習目的																
学習目標																
授業計画																
回	主 题		授 業 内 容			備考										
第1回																
第2回																
第3回																
第4回																
第5回																
第6回																
第7回																
第8回																
第9回																
第10回																
第11回																
第12回																
第13回																
第14回																
第15回																
教科書																
参考書																
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。															
履修のポイント																
オフィス・アワー																

平成28年度 シラバス

科目名	キャリデザインⅠ (ロングホームルーム)		担当者	担任	学科	ペット総合科	開講期	前期						
区分	キャリア基礎分野 理論	選択 必須	単位 (時間)	1 30時間	学年	1年	曜日 時限	金曜日 1時限						
授業の概要	就職活動に実践で活用できる内容の学習と習得													
学習目的	就職内定100%													
学習目標	就職活動に関する必要な知識を学び、個々の就労意識を高め、就職活動に役立てる													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回 4/15	ロングホームルーム		年間行事予定確認（ドッグショーおさらい、レポート作成方法） その他、諸々の連絡事項、YICグループウェア入力				担任							
第2回 4/22	ロングホームルーム		クラス交流・各種連絡事項				担任							
第3回 5/6	ロングホームルーム		ドッグショーの基礎知識と課題作成方法				担任							
第4回 5/13	ロングホームルーム		ドッグショー課題提出とグループワークでの発表				担任							
第5回 5/20	就活NAVYIノートの活用		自己分析Ⅰ				CS室&担任							
第6回 5/27	就活NAVYIノートの活用		自己分析Ⅱ				CS室&担任							
第7回 6/3	就活NAVYIノートの活用		自己分析Ⅲ				CS室&担任							
第8回 6/10	宿泊研修		宿泊研修に伴う連絡事項・グループ分けなど				担任							
第9回 6/17	社会人基礎学		キャリア実践コミュニケーション イントロダクション				担任							
第10回 6/24	社会人基礎学		キャリア実践コミュニケーション 第1章1				担任							
第11回 7/8	宿泊研修		宿泊研修に伴う課題提出及びグループワーク発表				担任							
第12回 7/15	社会人基礎学		ビジネスコミュニケーションの基本スキル 第1章の1・2				担任							
第13回 7/22	社会人基礎学		ビジネスコミュニケーションの基本スキル 第1章の3・4				担任							
第14回 9/2	ロングホームルーム		前期試験対策自習				担任							
第15回 9/9	社会人基礎学		ビジネスコミュニケーションの基本スキル 第1章の5・6・7				担任							
教科書	就活NAVYIノート / 実践！キャリア・コミュニケーション													
参考書														
成績評価	単位認定 出席率80%以上と課題提出をもって、合否判定を行う。													
履修のポイント	コミュニケーション力を最重要としている。													
オフィス・アワー	動物業界のアルバイトを通じて、実践的に学ぶ。													

平成28年度 シラバス

科目名	キャリデザインⅠ (ロングホームルーム)		担当者	担任	学科	ペット総合科	開講期	後期									
区分	キャリア基礎分野 理論	選択 必須	単位 (時間)	1 30時間	学年	1年	曜日	金曜日									
授業の概要	就職活動に実践で活用できる内容の学習と習得																
学習目的	就職内定100%																
学習目標	就職活動に関する必要な知識を学び、個々の就労意識を高め、就職活動に役立てる																
授業計画																	
回	主題	授業内容					備考										
第1回 10/7	就活NAV I ノートの活用	自己分析Ⅰ					CS室&担任										
第2回 10/14	就活NAV I ノートの活用	自己分析Ⅱ					CS室&担任										
第3回 10/21	就活NAV I ノートの活用	自己分析Ⅲ					CS室&担任										
第4回 11/11	ロングホームルーム	ほりかわ祭準備に向けて					担任										
第5回 11/18	社会人基礎学	キャリア実践コミュニケーション イントロダクション&第1章					担任										
第6回 11/25	ロングホームルーム	ドッグショーについてのおさらいと課題作成方法					担任										
第7回 12/2	ロングホームルーム	ドッグショー課題提出と発表					担任										
第8回 12/9	ロングホームルーム	愛玩動物飼養管理士資格試験対策自習					担任										
第9回 12/16	社会人基礎学	キャリア課題発表会					担任										
第10回 1/13	社会人基礎学	履歴書の書き方					CS室&担任										
第11回 1/20	社会人基礎学	面接の流れ					CS室&担任										
第12回 1/27	社会人基礎学	求人票の見方					CS室&担任										
第13回 2/3	社会人基礎学	1年の総括と単位認定試験対策自習					教務課長&担任										
第14回 2/10	ロングホームルーム	単位認定試験対策自習					担任										
第15回 2/17	ロングホームルーム	環境整備＆ロッカー返却準備					担任										
教科書	就活NAV I ノート / 実践！キャリア・コミュニケーション																
参考書																	
成績評価	単位認定	出席率80%以上と課題提出をもって、合否判定を行う。															
履修のポイント	コミュニケーション力を最重要としている。																
オフィス・アワー	動物業界のアルバイトを通じて、実践的に学ぶ。																

平成28年度 シラバス

科目名	実務研修 I		担当者		学科	ペット 総合科	開講期	通期										
区分	キャリア基礎	必修	単位 (時間)	1単位 (30)	学年	1年	曜日											
	理論						時限											
授業の概要	実際のペットショップ・動物病院に勤務を体験（研修）し、これを通して、専門知識を実社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要かを考える能力を身に付けるとともに就職に繋げる。																	
学習目的	(1) 就職を考えさせ早期就職内定へ繋げる。 (2) ペット業界での自分の適性や仕事の内容について自己分析する。 (3) ペット業界への関心・就職への意欲を高め、日々の学校生活に対する意欲を高める。																	
学習目標	1. ペットショップ・動物病院の実践的経験 2. 職業意識の育成 3. いろいろな人の持つ考え方や行動に触れることにより、学生としてではなく、社会人としてのマナーや責任感を身につけることができる。 実践的な経験により、自主的に行動ができる人材を育成する。																	
授業計画																		
回	主題	授業内容					備考											
第1回	8月（1年）	サロン訪問																
第2回	9月上旬（1年）	インターンシップについての目的について確認																
第3回	10月上旬（1年）	ペットショップ・動物病院研究インターシップ先希望先を提出																
第4回	10月中旬（2年）	インターシップ先の誓約書記入・事前連絡 ・インターシップ受け入れについてのお願い ・依頼の電話連絡を入れる																
第5回～8回	10月中旬（3年）	学生インターンシップ・ペットショップ ・動物病院訪問・実務記録を提出する																
第9回	3月（2年）	ペットショップ・動物病院訪問																
第10回	4月上旬（2年）	ペットショップ・動物病院研究インターシップ先の希望調査書を提出、インターシップ先誓約書に記入・事前連絡を入れる																
第11回	5月上旬（2年）	インターンシップについての目的確認・ インターシップ受け入れについてのお願いをする。																
第12回～15回	5月中旬（2年）	インターンシップ先のペットショップ・ 動物病院等訪問実務記録を提出する																
教科書																		
参考書																		
成績評価	出席 100%が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわず、欠席・時間不足者については振替登校日に課題等をさせる。																	
履修のポイント	単位認定 60点以上 就業報告書・実務記録・課題等の提出																	
オフィス・アワー	(原則として補講は行わない)																	

平成28年度 シラバス

科目名	総合学習 I		担当者		学科	ペット総合科	開講期	通期							
区分	キャリア基礎 理論	必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	1年次	曜日								
授業の概要	普段、学内では体験できない事を、外部の施設・イベントに参加をする。														
学習目的	外部の施設・イベントに参加をし、専門職者としての技術と人間力を高める。														
学習目標	① 普段扱わない生き物の管理を行う。 ② 実社会に触れることによって、学習意欲が向上する。 ③ 集団行動を身につける。														
授業計画															
回	主題	授業内容					備考								
第1回	宿泊体験研修														
第2回		サファリパーク・水族館等の施設で 普段扱うことが出来ない生き物を対象に実習を行う。													
第3回															
第4回															
第5回															
第6回		JKC ドックショー、動物感謝デー、盲導犬センター、 インナーナショナルドックショー等のイベントに参加、 または研修を行い、学内では体験できない事を行う。													
第7回															
第8回															
教科書															
参考書															
成績評価	出席 100 %が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわず、欠席・時間不足者については振替登校日に課題等をさせる。														
履修のポイント	単位認定 60 点以上 実務記録・課題の提出														
オフィス・アワー															

平成28年度 シラバス

科目名	猫学		担当者	松永	学科	ペット総合科	開講期	前期							
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	2年次	曜日 時限	月(水) 2							
授業の概要	猫についての歴史や種類、管理方法、生態について学び専門的な知識を勉強する。														
学習目的	猫の行動・本能・習性や特徴を理解し、ブリーディングの方法や毛色・種類などの幅広い知識を覚える。														
学習目標	猫のスタンダードや公認猫種を覚える。														
授業計画															
回	主題	授業内容					備考								
第1回	猫の歴史①	猫の祖先・ヨーロッパ					愛玩動物飼養管理士教本								
第2回	猫の歴史②	アジア・中国から日本への渡来					愛玩動物飼養管理士教本								
第3回	猫の歴史③	日本における猫の歴史 日本猫の誕生					愛玩動物飼養管理士教本								
第4回	猫の体の特徴	ボディタイプ・被毛・模様・色					Cat's								
第5回	ブリーディング	純血種の交配・先天的な障害					Cat's								
第6回	猫の行動	本能と習性 群れ生活(犬)と単独生活(猫)との違い					Cat's								
第7回	猫の種類①	ア・カ行の猫種の特徴					Cat's								
第8回	猫の種類②	サ行の猫種の特徴					Cat's								
第9回	猫の種類③	サ～タ行の猫種の特徴					Cat's								
第10回	猫の種類④	タ～ハ行の猫種の特徴					Cat's								
第11回	猫の種類⑤	ハ～マ行の猫種の特徴					Cat's								
第12回	猫の種類⑥	マ～ラ行の猫種の特徴					Cat's								
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習					試験範囲説明								
第14回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験					単位認定試験								
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説					試験解説								
教科書	Cat's、愛玩動物飼養管理士教本														
参考書															
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。														
履修のポイント															
オフィス・アワー															

科目名	健康管理学		担当者	田中	学科	ペット総合科	開講期	後期										
区分	ペット基礎	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	2年次	曜日	月・水・金										
	理論						時限	2										
授業の概要	犬・猫の病気について、各コース共通で必要な知識を覚える。																	
学習目的	犬・猫の病気について学び知識を身につける。																	
学習目標	ペットオーナーに説明教育出来るように知識を増やし、的確な助言ができる。																	
授業計画																		
回	主題		授業内容				備考											
第1回	犬の病気（1）		角膜の病気、線内障・白内障・網膜の病気 血液の病気・血液組織・免疫															
第2回	犬の病気（2）		貧血・貧血の種類・血尿 心臓の働き、先天性疾患・後天性心臓病、フィラリア症・心筋症															
第3回	犬の病気（3）		鼻炎、呼吸器の病気 口腔内疾患															
第4回	犬の病気（4）		消化器の病気、胃・小腸・大腸・肛門・肝臓															
第5回	犬の病気（5）		血液・内分泌・代謝・肝臓・脾臓・腎不全、泌尿器の病気															
第6回	犬の病気（6）		尿路感染症・排尿障害・多飲多尿・糖尿病 内分泌の病気															
第7回	犬の病気（7）		生殖器の病気 耳の病気・皮膚病															
第8回	犬の病気（8）		神経の病気															
第9回	猫の病気（1）		循環器系疾患・呼吸器系疾患 口腔内疾患・消化器疾患															
第10回	猫の病気（2）		腎臓・泌尿器系疾患 内分泌・生殖器系疾患															
第11回	猫の病気（3）		耳の病気・皮膚病 骨の病気・脳・脊髄の病気															
第12回	猫（犬）の病気		腫瘍・（犬猫の）誤飲															
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明											
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験											
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説											
教科書	犬・猫の病気																	
参考書																		
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。																	
履修のポイント																		
オフィス・アワー																		

平成28年度 シラバス

科目名	犬種別トリミングⅡ－2		担当者	五郎畠	学科	ペット総合科 トリマーコース	開講期	通期						
区分	トリマー分野 理論	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2年次	曜日	金、火						
授業の概要	専門的な犬種別トリミング方法、JKCライセンス取得クリップスタイルを覚える。													
学習目的	1年時より深く犬種を知り、犬種にあった専門的なトリミング方法を覚える。													
学習目標	1. JKCトリマーライセンスC級合格レベルの知識を身につける。 2. シザーリング、スイニング、ブラッキング犬種のトリミングの知識を身につける。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	プードル種 ペット・トリミング(1)		テディー・ペアカットを覚える											
第2回	プードル種 ペット・トリミング(2)		ケネル&ラム・クリップを覚える①											
第3回	イラストの書き方		ケネル&ラム・クリップを覚える②											
第4回	Aコッカーのペット・トリミング(1)		ペット・トリミング クリッパー仕上げ①											
第5回	Aコッckerのペット・トリミング(2)		ペット・トリミング クリッパー仕上げ②											
第6回	シュナウザーのペット・トリミング(1)		ペット・トリミング クリッパー仕上げ①											
第7回	シュナウザーのペット・トリミング(2)		ペット・トリミング クリッパー仕上げ②											
第8回	プードル種 ペット・トリミング(3)		パジャマダッチクリップ①											
第9回	プードル種 ペット・トリミング(4)		パジャマダッチクリップ②											
第10回	プードル種 ペット・トリミング(5)		ボレロマンハッタンクリップ①											
第11回	プードル種 ペット・トリミング(6)		ボレロマンハッタンクリップ②											
第12回	プードル種 ペット・トリミング(7)		ロイヤルダッチクリップ①											
第13回	プードル種 ペット・トリミング(8)		ロイヤルダッチクリップ②											
第14回	プードル種 ペット・トリミング(9)		マイアミクリップ①											
第15回	プードル種 ペット・トリミング(10)		マイアミクリップ②											
第16回	プードル種 ペット・トリミング(11)		ファーストコンチネンタルクリップ①											
第17回	プードル種 ペット・トリミング(12)		ファーストコンチネンタルクリップ②											
第18回	シザーリング犬種(1)		ビションフリーゼのペット・トリミング①											
第19回	シザーリング犬種(2)		ビションフリーゼのペット・トリミング②											
第20回	シザーリング犬種(3)		ベドリントンテリア ペット・トリミング方法①											
第21回	シザーリング犬種(4)		ベドリントンテリア ペット・トリミング方法②											
第22回	長脚テリアのトリミング(1)		ワイヤーフォックステリアのペット・トリミング方法①											
第23回	長脚テリアのトリミング(2)		ワイヤーフォックステリアのペット・トリミング方法②											
第24回	短脚テリアのトリミング(1)		スコティッシュテリアのペット・トリミング方法①											
第25回	短脚テリアのトリミング(2)		スコティッシュテリアのペット・トリミング方法②											
第26回	短脚テリアのトリミング(3)		ウエストハイランド・ホワイトテリアのペット・トリミング方法①											
第27回	短脚テリアのトリミング(4)		ウエストハイランド・ホワイトテリアのペット・トリミング方法②											
第28回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明							
第29回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験							
第30回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説							
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング（トリマーの基礎知識）、最新犬種図鑑													
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物＆授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	トリマー演習		担当者	井田	学科	ペット総合科 トリマーコース	開講期	通期							
区分	トリマーフィールド 理論	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2年次	曜日	水・金							
授業の概要	JKCトリマーライセンスC級取得のための知識、オリジナルカットのデザインの知識を身につける。														
学習目的	JKCトリマーライセンスC級取得、オリジナルカットのデザインができる。														
学習目標	1. JKCトリマーライセンスC級合格レベルの技術ができる（1人で1頭、2時間で仕上げる） 2. JKCトリマーライセンスC級合格レベルの学科知識を覚える（JKCトリマーライセンス学科テストに合格する） 3. オリジナルカット、カラーリング、エクステンションの知識を覚える														
授業計画															
回	主題	授業内容				備考									
第1回	トリマーライセンスについて	資格の分類と取得方法				トリマーの基礎知識 P70~76									
第2回	トリミング競技会	競技会の内容				トリマーの基礎知識 P77~86									
第3回	競技会画像の試写会	視覚によるイメージトレーニング				モニターによる									
第4回	ショーより見学の結果	ドッグショーにおけるパピークリップとケネル&ラムの共通性				画像									
第5回	復習	ケネル&ラムクリップの復習 スタンダード、学科				グルーミングマニュアル 犬種図鑑									
第6回	イラストの書き方	ケネル&ラムクリップ（骨格を考える）													
第7回	犬を選ぶ	テスト犬を選ぶ（1回目）				ブリーダーカルテ									
第8回	切り絵	イメージトレーニング（骨格を考える）				色紙									
第9回	粘土細工（1）	ケネル&ラムクリップ粘土細工 骨組み													
第10回	粘土細工（2）	ケネル&ラムクリップ粘土細工 粘土付け													
第11回	粘土細工（3）	ケネル&ラムクリップ粘土細工 仕上げ													
第12回	イラストの書き方	ケネル&ラムクリップ（全体のバランスを考える）													
第13回	切り絵	イメージトレーニング（全体のバランスを考える）				色紙									
第14回	学科の模擬試験（1）	模擬試験の実施と答え合わせ（犬体用語を考える）				プリント									
第15回	学科の模擬試験（2）	模擬試験の実施と答え合わせ（犬体用語を考える）				プリント									
第16回	学科の模擬試験（3）	模擬試験の実施と答え合わせ（グルーミングの基本を考える）				プリント									
第17回	学科の模擬試験（4）	模擬試験の実施と答え合わせ（グルーミングの基本を考える）				プリント									
第18回	ケネル&ラムクリップ画像集	模擬試験の実施と答え合わせ（プードルのスタンダードを考える）				プリント									
第19回	骨格を考える	模擬試験の実施と答え合わせ（プードルのスタンダードを考える）				プリント									
第20回	競技会見学	近畿ブロックトリミング競技会見学													
第21回	学科の模擬試験（5）	模擬試験の実施と答え合わせ（その他の犬種を考える）				プリント									
第22回	学科の模擬試験（6）	模擬試験の実施と答え合わせ（その他の犬種を考える）				プリント									
第23回	犬を選ぶ	テスト犬を選ぶ（2回目）				ブリーダーカルテ									
第24回	骨格を考える	欠点のカバー													
第25回	ケネル&ラムクリップ画像集	視覚によるイメージトレーニング													
第26回	デザイン画	欠点のカバー													
第27回	学科の模擬試験（7）	模擬試験の実施と答え合わせ（総合）				プリント									
第28回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習				試験範囲説明									
第29回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験				単位認定試験									
第30回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説				試験解説									
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、全犬種標準書、オリジナルカットデザイン集														
参考書															
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。														
履修のポイント オフィス ・アワー															

平成28年度 シラバス

科目名	美容実習Ⅲ		担当者	五郎畠・井田・小林 小倉・山田・小山 生田・三木・矢田	学科	ペット総合科 トリマーコース	開講期	通期
区分	トリマーフィールド 実習	選択必須	単位 (時間)	12 (360)	学年	2年次	曜日	月・火
授業の概要	カットの技術だけでなく、それぞれの犬種、ライセンスモデル担当犬の被毛の育成を行う。							
学習目的	プードル種【ケネル＆ラム・クリップ】指定時間（2時間）内に、モデル犬1頭を一人で仕上げるようになる。							
学習目標	JKC トリマーC級ライセンス合格							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	レッスン・ドッグ モデル・トリミング		レッスン・ドッグを使用してケネル＆ラム・クリップを仕上げる教員によるモデル犬を使用してのカット指導					
第2回	実技（プードル種 1）		プードル種の前肢の形作りを覚える					
第3回	実技（プードル種 2）		プードル種の顔部（Vネック）の刈り方を覚える					
第4回	実技（プードル種 3）		プードル種の顔部（Uネック）の刈り方を覚える					
第5回	実技（プードル種 4）		プードル種の後肢の形作りを覚える					
第6回	実技（プードル種 5）		背線の決め方を覚える					
第7回	実技（プードル種 6）		腰の角度を覚える					
第8回	実技（プードル種 7）		スロープの作り方を覚える					
第9回	実技（AMコッカー種 1）		Aコッカーの顔の刈り方を覚える					
第10回	実技（AMコッcker種 2）		Aコッckerの全体のトリミングを理解する					
第11回	実技（ポメラニアン 1）		ポメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える					
第12回	実技（シナウザー種 1）		シナウザーのペット・トリミングを覚える					
第13回	実技（ビション 1）		ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリアのペット・トリミング方法を覚える					
第14回	実技（プードル種 8）		トップ・ノットの作り方を覚える					
第15回	実技（プードル種 9）		ウェストの位置と作り方を覚える					
第16回	実技（プードル種 10）		後肢の動きを考えたシルエットを覚える					
第17回	実技（プードル種 11）		クリッパー作業の時間短縮をはかる（目標…25分以内）					
第18回	実技（プードル種 12）		クリッパー作業の時間短縮をはかる（目標…25分以内）					
第19回	実技（プードル種 13）		クリッパー作業の時間短縮をはかる（目標…20分以内）					
第20回	実技（プードル種 14）		クリッパー作業の時間短縮をはかる（目標…20分以内）					
第21回	実技（プードル種 15）		クリッパー作業の時間短縮をはかる（目標…15分以内）					
第22回	実技（プードル種 16）		クリッパー作業の時間短縮をはかる（目標…15分以内）					
第23回	実技（プードル種 17）		ケネル＆ラム・クリップを一人で1頭（3時間で仕上げ）					
第24回	実技（プードル種 18）		ケネル＆ラム・クリップを一人で1頭（3時間で仕上げ）					
第25回	実技（プードル種 19）		ケネル＆ラム・クリップを一人で1頭（2時間30分で仕上げ）					
第26回	実技（プードル種 20）		ケネル＆ラム・クリップを一人で1頭（2時間30分で仕上げ）					
第27回	実技（プードル種 21）		ケネル＆ラム・クリップを一人で1頭（2時間で仕上げ）					
第28回	実技（プードル種 22）		ケネル＆ラム・クリップを一人で1頭（2時間で仕上げ）					
第29回	実技（プードル種 23）		ケネル＆ラム・クリップを一人で1頭（2時間で仕上げ）					
第30回	実技（プードル種 24）		ケネル＆ラム・クリップを一人で1頭（2時間で仕上げ）					
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング（トリマーの基礎知識）、最新犬種図鑑							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント								
オフィス・アワー	注) 当日のモデル犬種により、授業内容が変更する場合があります。							

平成28年度 シラバス

科目名	訓練 I		担当者	仲川	学科	ペット総合科 トレーナー・コース	開講期	通期						
区分	トレーナー分野 実習	選択必須	単位 (時間)	4 (120)	学年	2年次	曜日	月						
授業の概要	訓練とはどんなことか、どのように行うのかを覚える													
学習目的	1頭以上訓練を入れ、JKC競技会に出場する。													
学習目標	JKC訓練競技会出場と、CD1訓練試験に合格する。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	JKC訓練競技会とは何か		オビディエンスとは何か、担当犬との関係作りをする											
第2回	競技会科目について		訓練犬を使って競技会科目を覚える 担当犬との関係作り 誘導で犬を動かす											
第3回	誘導方法		訓練済犬を使って競技会科目を覚える 誘導で犬を動かす											
第4回	訓練競技会科目（1）		脚側行進 脚側停座											
第5回	訓練競技会科目（2）		立止 伏臥 行進中の伏臥 伏臥からの招呼											
第6回	訓練競技会科目（3）		外にならす 誘導のある状況で自分に注目させる											
第7回	訓練競技会科目（4）		外にならす 脚側行進 脚側停座											
第8回	訓練競技会科目（5）		外にならす 立止 伏臥											
第9回	訓練競技会科目（6）		担当犬で誘導しながらCDISをする											
第10回	訓練競技会科目（7）		停座 伏臥の状態で長時間待つ											
第11回	訓練競技会科目（8）		外にならす 停座 伏臥の状態で長時間待つ											
第12回	訓練競技会科目（9）		外で誘導しながらCDISを通す											
第13回	訓練競技会科目（10）		苦手科目の強化（1）（ビデオ撮影後、確認）											
第14回	訓練競技会科目（11）		苦手科目の強化（2）（ビデオ撮影後、再確認）											
第15回	訓練競技会科目（12）		招呼											
第16回	訓練競技会科目（13）		おやつ、おもちゃの誘導なしで科目ができる											
第17回	訓練競技会科目（14）		屋外でおやつ、おもちゃの誘導なしで科目ができる											
第18回	訓練競技会に向けての実践練習（1）		秋の競技会に向けて練習（1）											
第19回	訓練競技会に向けての実践練習（2）		秋の競技会に向けて練習（2）											
第20回	復習		競技会でできなかったポイント練習											
第21回	訓練競技会科目（15）		障害飛越											
第22回	訓練競技会科目（16）		ひも無しの脚側行進 脚側停座											
第23回	訓練競技会科目（17）		ひも無しの立止 伏臥											
第24回	訓練競技会科目（18）		ひも無しの招呼											
第25回	訓練競技会科目（19）		外で練習 コースを引いて形式通にできる（1）											
第26回	訓練競技会科目（20）		外で練習 コースを引いて形式通にできる（2）											
第27回	訓練競技会科目（21）		外で練習 コースを引いて形式通にできる（3）											
第28回	訓練競技会に向けての実践練習（3）		春の競技会に向けて練習				試験範囲説明							
第29回	授業の振り返り		後期末試験の練習				単位認定試験							
第30回	試験		後期末試験				試験解説							
教科書														
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	訓練Ⅱー【1】、2 (ドッグ・スポーツ)		担当者	小泉	学科	ペット総合科 ドッグトレーナー	開講期	通期 【後期】								
区分	トレーナー分野 実習		選択必須	単位 (時間)	4【2】 (120)【60】	学年	【1】、2年次									
授業の概要	ドッグ・スポーツを通じて、犬づくりの方法を覚える															
学習目的	社会で自立するための技術・知識の向上と社会貢献															
学習目標	各パートナー犬との信頼関係を築く															
授業計画																
回	主題	授業内容	備考													
第1回	ドッグ・スポーツとは	パートナーとの関係性をチェック ドッグ・スポーツの種類、Yes・Noの使い方														
第2回	ドッグ・スポーツの必要性	ドッグ・スポーツの必要性 クレート・トレーニング														
第3回	トレーニングの要点（1）	トレーニング前の要点 ウォーミング・アップ、ストレッチ														
第4回	トレーニングの要点（2）	トレーニング中の要点 インターバル・トレーニング														
第5回	トレーニングの要点（3）	トレーニング後の要点 クール・ダウン、マッサージ														
第6回	犬の管理	食事・体重管理														
第7回	運動・注意点について	運動について、熱中症対策														
第8回	ボディー・ランゲージ（1）	ボディー・ランゲージについて（1）														
第9回	ボディー・ランゲージ（2）	ボディー・ランゲージについて（2）														
第10回	音の使い方	音の反応、訓練における音の使い方について														
第11回	ストレス反応について	ストレス反応について														
第12回	クリッカー・トレーニング（1）	クリッカー・トレーニング（コンディショニング）														
第13回	クリッcker・トレーニング（2）	クリッcker・トレーニング（行動にマークする）														
第14回	クリッcker・トレーニング（3）	クリッcker・トレーニング（ターゲット・トレーニング）														
第15回	クリッcker・トレーニング（4）	クリッcker・トレーニング（応用）														
第16回	ダンス・ドッグ（1）	ダンス・ドッグ スポーツの社会貢献														
第17回	ダンス・ドッグ（2）	ダンス・ドッグ 個人発表														
第18回	トレーニング（1）	犬との遊び タグ・トレーニング														
第19回	トレーニング（2） ディスク・ドッグ（1）	マット・トレーニング、個人発表 ディスク・ドッグ①														
第20回	ディスク・ドッグ（2）	ディスク・ドッグ②														
第21回	ディスク・ドッグ（3）	ディスク・ドッグ③ シェーピング 個人発表														
第22回	アジャティー（1）	アジャティー① シェーピング														
第23回	アジャティー（2）	アジャティー② シェーピング 個人発表														
第24回	アジャティー（3）	アジャティー③ シェーピング														
第25回	アジャティー（4）	アジャティー④ シェーピング 個人発表														
第26回	フライ・ボール（1）	フライボール① リーダー・シップについて														
第27回	フライ・ボール（2）	フライボール②														
第28回	フライ・ボール（3）	フライボール③														
第29回	試験実施	試験実施 実技発表														
第30回	試験解説	試験の解説 実技発表														
教科書																
参考書																
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。															
履修のポイント																
オフィス・アワー																

平成28年度 シラバス

科目名	家庭犬訓練Ⅱ－【1】、2		担当者	新江	学科	ペット総合科	開講期	通期 【後期】							
区分	トレーナー分野 実習	選択必須	単位 (時間)	4【2】 (120) 【(60)】	学年	【1】、2年次	曜日	水							
授業の概要	犬を知ること、つくれること（家庭犬訓練の学科と実技内容を知る）														
学習目的	犬のトレーニングについての考え方・接し方・実技を学び、覚える														
学習目標	犬とのゲームや実技を通して、楽しみながらトレーニングする方法・考える力を身に付ける。														
授業計画															
回	主題	授業内容					備考								
第1回	はじめに	自己紹介と授業の進め方・注意事項について													
第2回	犬を知る	オオカミとイヌの違いを覚える													
第3回	犬種の選択	人為選択と自然選択													
第4回	犬個体について	イヌによって違うことと同じこと													
第5回	犬の行動	イヌの考え方と行動													
第6回	トレーニングのポイント必要性	イヌを作るってどういうこと？													
第7回	ゲーム（1）	Y E S ・ N O ゲーム													
第8回	トレーニングのポイント	ほめることと叱ること、かまうことと無視すること													
第9回	考え方の違い	イヌの考え方とヒトの考え方													
第10回	犬とオーナーの思考差	イヌの考え方・飼い主の考え方													
第11回	ゲーム（2）	トレーニング・スケジュール①													
第12回	ゲーム（3）	トレーニング・スケジュール②													
第13回	態度について	ヒトと接する時の態度													
第14回	まとめ（1）と前期の復習	前期のまとめと復習													
第15回	理解度確認	なぜ、うまくいく？													
第16回	コマンドとタイミング	コマンドとは、何か？ コマンドのタイミング													
第17回	インターバル・トレーニング	トレーニング													
第18回	冷静に考えること	トレーニング中における注意点													
第19回	どれなら信じる？	トレーニング中の模索法													
第20回	環境による幸福度	イヌにとって、都会・校外・田舎のどれが幸せか？													
第21回	恐怖について	恐怖性と恐怖心について													
第22回	コントロール方法	パーク・コントロールについて													
第23回	攻撃性（1）	様々な攻撃性について①													
第24回	攻撃性（2）	様々な攻撃性について②													
第25回	パーソナル・スペース	パーソナル・スペースについて													
第26回	トリックについて	様々なトリックについて													
第27回	アイテムについて	様々なアイテムについて													
第28回	まとめ（2）	一年間の総まとめ					試験範囲説明								
第29回	振り返りと試験	振り返りと試験実施					単位認定試験								
第30回	試験の解説	試験の解説					試験解説								
教科書															
参考書															
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。														
履修のポイント オフィス・アワー															

平成28年度 シラバス

科目名	パピー・ケア I		担当者	伊勢村	学科	ペット総合科	開講期	前期						
区分	ペット基礎 実習	必須	単位 (時間)	4 (120)	学年	2年次	曜日	金						
授業の概要	生後1ヶ月から1歳になるまでのしつけ・栄養・健康・飼い主との家族関係を覚え、アドバイスができる。													
学習目的	生後1ヶ月から1歳になるまでの基礎知識を覚える。													
学習目標	総合的視野から犬の成長に必要な基礎知識を覚える。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	自己紹介・授業を始める前に		自己紹介、授業の進め方											
第2回	ケア		子犬の選び方、接し方、迎える準備											
第3回	仔犬と学ぶ		仔犬の叱り方、ほめ方、子犬と人の手の関係											
第4回	コマンドの確認（1）		アイコンタクト、タイミングの確認											
第5回	コマンドの確認（2）		コマンドの確認（マズル・コントロール、シャドーイング）											
第6回	チェック方法について		犬体チェック方法 社会化見学				課外授業							
第7回	幼年期（1）		リード・カラーの使い方											
第8回	幼年期（2）		散歩の方法											
第9回	実技（1）		実習トレーニング導入											
第10回	実技（2）		オベディエンス（パピー・スクールについて）											
第11回	実技（3）		オペラントの条件づけ											
第12回	実技（4）		おいで・まて											
第13回	実技（5）・復習		ふせ・ヒール・スタンド											
第14回	試験		実技試験											
第15回	試験の振り返り、まとめ		試験解答、復習											
教科書														
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー	トレーナー・コースのみ、後期へ継続													

平成28年度 シラバス

科目名	パピーケアーⅡ		担当者	伊勢村	学科	ペット総合科 ドッグ・トレーナー	開講期	後期							
区分	トレーナー分野 実習	選択必須	単位 (時間)	4 (120)	学年	2年次	曜日	金 時限 3, 4							
授業の概要	1年次履修内容より深く、生後1ヶ月から1歳になるまでのしつけ・栄養・健康・アドバイスを学ぶ														
学習目的	1年次で学んだことを基礎に、生後1ヶ月から1歳になるまでの知識を更に深く学ぶ														
学習目標	総合的視野から犬の成長に必要な知識を深く知る														
授業計画															
回	主題	授業内容				備考									
第1回	ケアー	仔犬との接し方・ケアーの仕方													
第2回	ケアー	夏と冬のケアーの違い													
第3回	仔犬	仔犬を迎える準備													
第4回	実技	コマンドの確認（アイコンタクト）													
第5回	実技	コマンドの確認（マズルコントロール・シャドーイング）													
第6回	実技	体チェック方法 社会化見学													
第7回	幼年期	リード・カラーの使い方													
第8回	幼年期	散歩の方法													
第9回	実技	実習トレーニング導入													
第10回	実技	オベディエンス													
第11回	実技	オペラントの条件づけ													
第12回	実技	おいで・まて													
第13回	実技	ふせ・ヒール													
第14回	復習	コマンドの的確な出し方													
第15回	シュミレーション	パピースクールについて													
第16回	シュミレーション	しつけ教室													
第17回	シュミレーション	ペットアドバイザー													
第18回	シュミレーション	役割を変えて体験授業													
第19回	行動	やめてほしいくせ													
第20回	行動	トイレ・グループ別アイコンタクト													
第21回	行動	犬を教えるフォーメーション													
第22回	シュミレーション	ドッグトレーナー													
第23回	シュミレーション	アシスタント													
第24回	シュミレーション	オーナー													
第25回	ケアー	冬の過ごし方													
第26回	行動	リーダーシップ													
第27回	行動	犬の育児計画													
第28回	行動	待てをさせよう				試験範囲説明									
第29回	実技	犬に考えさせる				単位認定試験									
第30回		発想を持ったしつけの仕方				試験解説									
教科書															
参考書															
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。														
履修のポイント															
オフィス・アワー															

平成28年度 シラバス

科目名	ハンドリング		担当者	山中	学科	ペット総合科 ドッグトレーナーコース	開講期	前期							
区分	トレーナー分野 実習	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2年次	曜日	水							
授業の概要	ハンドリングの方法と技術を覚える。														
学習目的	犬種を理解し、犬をより深く愛せるハンドラーになる。														
学習目標	JKC ハンドリングC級ライセンスに合格する。														
授業計画															
回	主題	授業内容				備考									
第1回	ハンドリングの歴史（1）	ハンドリングとドッグショーの歴史①													
第2回	ハンドリングの歴史（2）	ハンドリングとドッグショーの歴史②													
第3回	ハンドリングのシステム（1）	ショーシステムについて													
第4回	ハンドリングのシステム（2）	ショーシステムをDVDで観る													
第5回	審査方法	審査員は何を見ようとしているのかを知る													
第6回	手順方法	スタッツの手順方法を覚える													
第7回	スタッツとは何か	リードのかけ方・持ち方を覚える													
第8回	歩行方法	歩行パターンを身につける													
第9回	リードワークの仕方	リードワークをDVDを観て覚える													
第10回	歩行練習（1）	実際の歩行パターン①を覚える（実技）													
第11回	歩行練習（2）	実際の歩行パターン②を覚える（実技）													
第12回	歩行練習（3）	実際の歩行パターン③を覚える（実技）													
第13回	マナー・ルールについて（1）	ドッグショーでのマナーとルールを覚える													
第14回	授業の振り返り	試験対策・振り返り				試験範囲説明									
第15回	試験	試験（実技）				単位認定試験									
教科書	JKC ハンドリングマニュアル														
参考書															
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。														
履修のポイント															
オフィス・アワー															

平成28年度 シラバス

科目名	小動物概論 II		担当者	田邊	学科	ペット総合科 アドバイザー・コース	開講期	通期						
区分	アドバイザーフィールド 理論	選択必須	単位 (時間)	4 (120)	学年	2年次	曜日	火						
授業の概要	動物全般について（哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・無脊椎動物）													
学習目的	小動物全般について広範囲の知識を覚える													
学習目標	動物全般に対しての知識を幅広く身につける													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	動物学（1）		分類											
第2回	動物学（2）		生態											
第3回	動物学（3）		分布、野外実習（校外学習）①											
第4回	哺乳類（1）		単孔目、双門歯目、長鼻目、海牛目、被甲目、有毛目											
第5回	哺乳類（2）		靈長目、ウサギ目											
第6回	哺乳類（3）		げっ歯目、トガリネズミ目											
第7回	哺乳類（4）		鯨偶蹄目、校外授業											
第8回	哺乳類（5）		食肉目、奇蹄目、翼手目											
第9回	鳥類（1）		鳴き声、走鳥目											
第10回	鳥類（2）		カモ目、キジ目											
第11回	鳥類（3）		インコ目、野外実習（校外学習）②											
第12回	鳥類（4）		スズメ目											
第13回	爬虫類（1）		カメ目											
第14回	爬虫類（2）		トカゲ目											
第15回	爬虫類（3）		ヘビ亜目											
第16回	爬虫類（4）		ワニ目											
第17回	両生類（1）		特徴											
第18回	両生類（2）		有尾目											
第19回	両生類（3）		無尾目①											
第20回	両生類（4）		無尾目②、野外観察											
第21回	魚類（1）		無頸類、軟骨魚類											
第22回	魚類（2）		原始的な魚											
第23回	魚類（3）		条鰓類											
第24回	魚類（4）		観賞魚、野外観察（校外授業）①											
第25回	無脊椎動物（1）		分類											
第26回	無脊椎動物（2）		昆虫											
第27回	無脊椎動物（3）		その他											
第28回	まとめ、試験範囲の復習		まとめと野外観察（校外授業）②				試験範囲説明							
第29回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験							
第30回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説							
教科書														
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	小動物実習		担当者	田邊	学科	ペット総合科 ペットアドバイザー	開講期	通期						
区分	アドバイザー分野 理論／実習	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2年次	曜日	火 時限 3						
授業の概要	小動物の飼育、野外実習													
学習目的	飼育の方法・知識を覚える													
学習目標	技術を覚える													
授業計画														
回	主 题		授 業 内 容				備考							
第1回	飼育の基本		飼育にあたって											
第2回	飼養動物の歴史		ペットや家畜の歴史											
第3回	野外実習（1）		野外実習（梅小路公園）											
第4回	飼育装置（1）		飼育器具①											
第5回	飼育装置（2）		飼育器具②											
第6回	餌		餌の種類											
第7回	野外実習（2）		野外実習（宝ヶ池）											
第8回	種別飼育法（1）		フクロモモンガ											
第9回	種別飼育法（2）		リスザル											
第10回	種別飼育法（3）		ウサギ											
第11回	野外実習（3）		野外実習（深泥ヶ池）											
第12回	種別飼育法（4）		リス											
第13回	種別飼育法（5）		ネズミ											
第14回	種別飼育法（6）		ハムスター											
第15回	野外実習（4）		野外実習（未定）											
第16回	種別飼育法（7）		スナネズミ、トビネズミ、テンジクネズミ											
第17回	種別飼育法（8）		チンチラ、デグー											
第18回	種別飼育法（9）		ハリネズミ、ネコ①											
第19回	種別飼育法（10）		ネコ②											
第20回	野外実習（5）		野外実習（御所）											
第21回	種別飼育法（11）		ネコ③、フェレット											
第22回	種別飼育法（12）		鳥類											
第23回	種別飼育法（13）		爬虫類											
第24回	野外実習（6）		野外実習（モンキーパーク）											
第25回	種別飼育法（14）		両生類											
第26回	種別飼育法（15）		魚類											
第27回	種別飼育法（16）		昆虫											
第28回	まとめと野外実習（7）		試験範囲の復習とまとめ、野外実習（京都市動物園）				試験範囲説明							
第29回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験							
第30回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説							
教科書														
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	水生生物Ⅱ－【1】、2		担当者	細川	学科	ペット総合科 ペットアドバイザーコース	開講期	通期 【後期】
区分	アドバイザー分野 理論／実習	選択必須	単位 (時間)	4【2】 (120) 【(60)】	学年	【1】、2年次	曜日	月
授業の概要	アクアリウムの実践							
学習目的	水草の取り扱いと熱帯魚の性質を知り、アクアリウムの組み立てからレイアウトの完成をさせる。							
学習目標	1人に1つの水槽（基本60cm水槽）を管理し、レイアウト全ての作品を作り上げる。 水草の定着から、流木・アクセサリを使用してのアレンジができる。							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	アクアリウムの基本		水槽の種類 ガラス水槽とアクリル水槽 短所と長所					
第2回	レイアウトの構成		アクアリウムとアクアテラリウム レイアウト					
第3回	水草の取り扱い		水草の種類 前景・中景・後景					
第4回	熱帯魚の性質から混泳を考える		熱帯魚の組み合わせ					
第5回	実践（実習）（1）		水槽の組み立て①					
第6回	実践（実習）（2）		水槽の組み立て②					
第7回	実践（実習）（3）		フィルター・装置の説明					
第8回	買い付け		各水槽のレイアウトを考え自分達のイメージにあった熱帯魚と水草を購入する					
第9回	実践（実習）（4）		水草のレイアウト					
第10回	実践（実習）（5）		水草の植え付け					
第11回	実践（実習）（6）		全体での水槽のレイアウト					
第12回	実践（実習）（7）		水槽の全体のイメージから、より近づける為にトリミングを行う					
第13回	実践（実習）（8）		水槽のメンテナンス①					
第14回	実践（実習）（9）		全体での水槽のレイアウト					
第15回	復習		熱帯魚と水草の名前の復習					
第16回	実践（実習）（10）		水槽のメンテナンス②					
第17回	レイアウトの構成（1）		自分の水槽の始めからの立ち上げ					
第18回	レイアウトの構成（2）		レイアウト決めと水槽の組み立て準備					
第19回	実践（実習）（11）		水の管理					
第20回	実践（実習）（12）		アクセサリー、流木の管理とレイアウト					
第21回	買い付け		各水槽のレイアウトを考え自分達のイメージにあった熱帯魚と水草を購入する					
第22回	実践（実習）（13）		全体での水槽のレイアウト①					
第23回	実践（実習）（14）		全体での水槽のレイアウト②					
第24回	実践（実習）（15）		水槽のメンテナンス③					
第25回	実践（実習）（16）		水槽のメンテナンス④					
第26回	実践（実習）（17）		作品の仕上げ①					
第27回	実践（実習）（18）		作品の仕上げ②					
第28回	実践（実習）（19）		作品の維持と管理①					
第29回	実践（実習）（20）		作品の維持と管理②					
第30回	実践（実習）【添削】		作品のまとめ・総仕上げ (自分の作品の展示紹介)					
教科書	観賞魚大図鑑							
参考書	世界の熱帯魚、水草 楽しい熱帯魚、							
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント								
オフィス・アワー								

平成28年度 シラバス

科目名	動物行動学 II		担当者	松永	学科	ペット総合科 ペットアドバイザー	開講期	通期	
区分	アドバイザー分野 理論	選択必須	単位	2	学年	2年	曜日	水	
			(時間)	60 <th data-kind="ghost"></th> <th data-kind="ghost"></th> <th>時限</th> <td>3</td>			時限	3	
授業の概要	人の生活中で、最も近い位置で暮らしている犬・猫の様々な情報を読み取り問題となる行動を観察・記録・分析を実践することで、解決方法を導く。生体・生理的状態・環境刺激などの要因を分析したうえで、飼い主指導に活かす。 1年次の行動生態や行動分類を活用し、2年次は応用とする。								
学習目的	それぞれの家庭で理想的な育成は異なるが、双方の幸せと現代の人間社会で暮らす動物達の置かれている実情を知ることにより、何が問題で何が問題ではないのかを知り、育成方法、問題行動を考える。 動物へのトレーニングだけでなく、飼い主教育までしっかりとと考えて発言でき、また、高齢動物での行動変化（問題行動）を把握し、答えを導き出せるスタッフを目指す。								
学習目標	どれだけ知識があっても観察力と考察力が伴わないと現場では役に立たないので、状況判断を行うことができ、活用場面の把握ができるスタッフになることを目標とする。								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	1年次の行動学理解度確認	行動の定義と機能分類 なぜ、1年次の動物行動学が今後必要となるのか	
第2回	行動観察 1	問題行動とはなんなのか 行動の定義と原因の分析	
第3回	行動観察 2	原因分析から行動を測定し、記録をつけ計画をたてる	
第4回	行動観察 3	S M A R T目標の活用。計画に組み込む。	
第5回	行動と環境 1	行動の強化・弱化・消去などの種類と用い方 誘導と報酬	
第6回	行動と環境 2	行動の強化・弱化・消去などの種類と用い方 誘導と報酬	
第7回	問題行動 1	演習問題の行動から推測と予想をたて、計画をたてる。 解決方法を導き出す。	グループワーク
第8回	問題行動 2	演習問題の行動から推測と予想をたて、計画をたてる。 解決方法を導き出す。	グループワーク
第9回	問題行動 3	演習問題の行動から推測と予想をたて、計画をたてる。 解決方法を導き出す。	グループワーク
第10回	問題行動 4	演習問題から原因を分析し、計画をたてる。 適切な対処方法を導き出す。	グループワーク
第11回	問題行動 5	演習問題から原因を分析し、計画をたてる。 適切な対処方法を導き出す。	グループワーク
第12回	問題行動 6	演習問題から原因を分析し、計画をたてる。 適切な対処方法を導き出す。	グループワーク
第13回	理解度確認・振り返り	行動・問題行動の理解度確認 前期未試験に活かす	
第14回	確認テスト	確認テスト実施	
第15回	前期振り返り・確認テスト解説	これまでの振り返りを行うことで後期の授業に活かす 動物行動学後期に進む	
第16回	犬と猫のコミュニケーション 行動 1	犬と猫のコミュニケーション 違いとその行動の意味	
第17回	犬と猫のコミュニケーション 行動 2	行動の目的とその意味	
第18回	犬と猫のコミュニケーション 行動 3	犬・猫特有の行動	
第19回	高齢犬・猫 1	老化と行動異常	
第20回	高齢犬・猫 2	高齢による行動変化からみた生活環境	
第21回	高齢犬・猫 3	高齢により衰える部分と維持される部分	
第22回	高齢犬・猫 4	高齢犬・猫との暮らしを考えたトレーニング	
第23回	適正飼養 1 応用	動物行動学で学んだ内容を振り返り、飼い主指導に活かす	
第24回	適正飼養 2 応用	動物行動学で学んだ適正飼養に必要な知識、考え方をまとめ、 飼い主指導に活かす	
第25回	適正飼養 3 応用	動物行動学で学んだことを活かし、飼い主様に適正なアドバイスができ、犬・猫 が心身ともに健康な生活が送れるよう知識を役立てる	
第26回	適正飼養 4 応用	動物行動学で学んだことを活かし、飼い主様に適正なアドバイスができ、犬・猫 が心身ともに健康な生活が送れるよう知識を役立てる	
第27回	適正飼養 5 応用	動物行動学で学んだことを活かし、飼い主様に適正なアドバイスができ、犬・猫 が心身ともに健康な生活が送れるよう知識を役立てる	
第28回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習	試験範囲説明
第29回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験	単位認定試験
第30回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説	試験解説
教科書			
参考書			
成績評価	単位認定 総合成績 60点、出席率 80%以上 成績点 70%、提出物 & 授業態度点 20%、出席点 10%を換算して総合評価を行う。		
履修のポイント			
オフィス・アワー			

平成28年度 シラバス

科目名	小動物看護学	担当者	北村	学科	ペット総合科	開講期	通期
区分	アドバイザー分野 理論	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2年次	曜日 水 時限 4
授業の概要	動物看護師という観点から、ペット・アドバイザーとしての小動物の知識を覚える。						
学習目的	ペット・ショップで取り扱う代表的な小動物の生態・習性・飼養・保定方法、罹患率の高い疾病を小動物の種類ごとに説明ができる。 ペット・ショップに勤務した時に、初めて見る動物についてをお客様へ説明するために調べることができる。						
学習目標	ウサギ・ハムスター・フェレット・モルモット・ハリネズミ・チンチラ・鳥類の品種・生態・習性・飼養方法 ・代表的な疾病について説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第1回	小動物（エキゾチック・アニマル）とは？	小動物（エキゾチック・アニマル）とは、どのような動物をいかで説明ができる。 動物食性と植物食性の違いを説明できる。 「生物濃度」が説明でき、具体例を1つ挙げられる。				授業の流れについての説明	
第2回	食性とは？	ウサギってどんな動物？					
第3回	ウサギってどんな動物？	ウサギの正しい飼い方					
第4回	ウサギの正しい飼い方	ウサギの代表的な疾病 ウサギの保定					
第5回	ウサギの代表的な疾病 ウサギの保定	ウサギの品種				調べ学習・発表	
第6回	ウサギの品種	ハムスターってどんな動物？					
第7回	ハムスターってどんな動物？	ハムスターの正しい飼い方					
第8回	ハムスターの正しい飼い方	ハムスターの正しい飼い方代表的な疾病 ハムスターの保定					
第9回	ハムスターの正しい飼い方代表的な疾病 ハムスターの保定	ハムスターの品種				調べ学習・発表	
第10回	ハムスターの品種	モルモットってどんな動物？					
第11回	モルモットってどんな動物？	モルモットの正しい飼い方					
第12回	モルモットの正しい飼い方	モルモットの代表的な疾病 モルモットの保定					
第13回	モルモットの代表的な疾病 モルモットの保定	モルモットの品種				調べ学習・発表	
第14回	モルモットの品種	チンチラってどんな動物？ チンチラの正しい飼い方					
第15回	チンチラってどんな動物？ チンチラの正しい飼い方	チンチラの代表的な疾病 チンチラの保定					
第16回	チンチラの代表的な疾病 チンチラの保定	チンチラの品種				調べ学習・発表	
第17回	チンチラの品種	フェレットってどんな動物？ フェレットの正しい飼い方					
第18回	フェレットってどんな動物？ フェレットの正しい飼い方	フェレットの代表的な疾病 フェレットの保定					
第19回	フェレットの代表的な疾病 フェレットの保定	フェレットの品種				調べ学習・発表	
第20回	フェレットの品種	ハリネズミってどんな動物？ ハリネズミの正しい飼い方					
第21回	ハリネズミってどんな動物？ ハリネズミの正しい飼い方	ハリネズミの代表的な疾病 ハリネズミの保定					
第22回	ハリネズミの代表的な疾病 ハリネズミの保定	ハリネズミの品種				調べ学習・発表	
第23回	ハリネズミの品種	鳥ってどんな生き物？					
第24回	鳥ってどんな生き物？	小鳥の正しい飼い方					
第25回	小鳥の正しい飼い方	小鳥の代表的な疾病 小鳥の保定				鳥類の範囲が広いため、良く飼養されている品種についてを覚える	
第26回	小鳥の代表的な疾病 小鳥の保定	飼養されている鳥の品種					
第27回	飼養されている鳥の品種	試験範囲の復習				試験範囲説明	
第28回	試験範囲の復習	振り返り授業・試験実施				单位認定試験	
第29回	振り返り授業・試験実施	試験問題の解答、解説				試験解説	
第30回	試験問題の解答、解説	教科書 参考書 成績評価 履修のポイント オフィス・アワー					
教科書	愛玩動物飼養管理士教本 1級・第2巻 2級・第2巻						
参考書	カラーアトラス・エキゾチックアニマル哺乳類編・鳥類編						
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物・授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。						
履修のポイント							
オフィス・アワー							

平成28年度 シラバス

科目名	犬種学Ⅱ		担当者	矢田	学科	ペット総合科 アドバイザーコース	開講期	前期						
区分	アドバイザー分野 理論	選択必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	2年次	曜日	月						
授業の概要	各グループの犬種の専門的な知識を覚える。													
学習目的	各犬種の習性や特徴を細かくスタンダードを分析し覚える。													
学習目標	それぞれの犬種のスタンダードを熟知し、お客様の質問等に的確なアドバイスができるようになる。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	1年次に履修したことの復習（1）		犬種標準とは何か？ 第1～5グループについて											
第2回	1年次に履修したことの復習（2）		第4～10グループについて											
第3回	第1グループ		シープ・ドッグ&キャトル・ドッグ（スイス・キャトル・ドッグを除く） グループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など											
第4回	第2グループ		ピンシャー&シュナウザー、モロシアン犬種 スイス・マウンテン・ドッグ&スイスキャトル・ドッググループの関連犬種の細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など											
第5回	第3グループ		テリアグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など											
第6回	第4グループ		ダックス・フンドグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキン グ上位子犬の販売価格・画像・飼養難易度など											
第7回	第5グループ		スピッツ&プリミティブ・タイプグループの細かい特徴・市場流通の現 状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など											
第8回	第6グループ		セントハウンド&関連犬種グループの細かい特徴・市場流通の現状、人気 ランキンギ上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など											
第9回	第7グループ		ポインティング・ドッググループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ラ ンキンギ上位子犬の販売価格・画像・飼養難易度など											
第10回	第8グループ		レトリーバー、フラッシング・ドッグ、ウォータードッググループの細 かい特徴・市場流通の現状、人気ランキンギ上位仔犬の価格・画像・飼養難 易度など											
第11回	第9グループ		コンパニオン&トイグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキ ング上位子犬の価格・画像・飼養難易度など											
第12回	第10グループ		サイト・ハウンドグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキン ギ上位仔犬の価格・画像・飼養難易度など											
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明							
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験							
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説、1年間の総まとめ				試験解説							
教科書	最新犬種図鑑													
参考書	日本と世界の犬のカタログ2015年版													
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	愛犬飼育管理学		担当者	小林	学科	ペット総合科 アドバイザーコース トレーナー・コース	開講期	後期						
区分	アドバイザーフィールド 理論	選択必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	火						
授業の概要	犬種についての基本的な知識を覚える。													
学習目的	J K C 愛犬飼育管理士資格取得。													
学習目標	J K C 愛犬飼育管理士資格試験に合格する。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	犬学（1）		犬の起源と進化、犬の生態、犬の感覚				愛犬飼育管理士教本 P. 7~11							
第2回	犬学（2）		犬の生理				愛犬飼育管理士教本 P. 11~14							
第3回	犬の飼育管理（1）		適正な飼育環境				愛犬飼育管理士教本 P. 17~22							
第4回	犬の飼育管理（2）		健康管理				愛犬飼育管理士教本 P. 23~29							
第5回	犬の繁殖学（1）		健康な犬を繁殖するには、繁殖家の守るべき心得				愛犬飼育管理士教本 P. 47							
第6回	犬の繁殖学（2）		犬の繁殖生理				愛犬飼育管理士教本 P. 48~55							
第7回	犬の繁殖学（3）		交配相手選びの条件、交配の技術、出産までの健康管理				愛犬飼育管理士教本 P. 56~58							
第8回	犬の繁殖学（4）		出産時の注意点、新生児に関する注意、繁殖の現状とこれからの問題点				愛犬飼育管理士教本 P. 58~64							
第9回	犬の動物愛護（1）		動物取扱業者としての職業倫理、職務と責任				愛犬飼育管理士教本 P. 67~76							
第10回	犬の動物愛護（2）		動物愛護のための法律知識				愛犬飼育管理士教本 P. 77~86							
第11回	犬種名の由来（1）		ア～サ行の犬種				愛犬飼育管理士教本 P. 121~126							
第12回	犬種名の由来（2）		タ～ワ行の犬種				愛犬飼育管理士教本 P. 126~133							
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明							
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験							
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説							
教科書	J K C 愛犬飼育管理士教本													
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	キャリデザインⅡ (ロングホームルーム)		担当者	担任	学科	ペット総合科	開講期	前期									
区分	キャリア基礎分野 理論	選択 必須	単位 (時間)	1 30時間	学年	2年	曜日	木曜日									
授業の概要	就職活動に実践で活用できる内容の学習と習得																
学習目的	就職内定100%																
学習目標	就職活動に関する必要な知識を学び、個々の就労意識を高め、就職活動に役立てる																
授業計画																	
回	主題	授業内容					備考										
第1回 4/14	ロングホームルーム	年間行事予定確認（ドッグショーおさらい、レポート作成方法） その他、諸々の連絡事項、YICグループウェア入力					担任										
第2回 4/21	実務実習	インターンシップ希望調査Ⅰ ※就職先を意識した希望先を選定（担任&学生個人面談）					担任										
第3回 4/28	実務実習	インターンシップ希望調査Ⅱ ※希望先をもってグループ面談実施					担任・CS室 学科長・教務課長										
第4回 5/12	ホームルーム	ドッグショー課題提出&グループワーク（発表）					担任										
第5回 5/19	社会人基礎学	履歴書の書き方					CS室&担任										
第6回 5/26	社会人基礎学	面接の流れ					CS室&担任										
第7回 6/2	社会人基礎学	求人票の見方 ※イオンペットのエントリー開始時期					CS室&担任										
第8回 6/9	社会人基礎学	ビジネスコミュニケーションの基本スキル 第2章の1・2					担任										
第9回 6/16	社会人基礎学	ビジネスコミュニケーションの基本スキル 第2章の3・4					担任										
第10回 6/23	社会人基礎学	ビジネスコミュニケーションの基本スキル 第2章の5・6					担任										
第11回 7/7	実務実習	インターンシップに伴う就業報告書の提出&発表					担任										
第12回 7/14	実務実習	就職活動に伴うグループ面談実施 (インターンシップ先への就職希望有無など)					担任・CS室 学科長・教務課長										
第13回 7/21	社会人基礎学	ビジネスコミュニケーションの基本スキル 第2章の7・8					担任										
第14回 9/1	就職活動報告	夏期休暇中の就職活動に関する個別報告会 ※グループ面談実施					担任・CS室 学科長・教務課長										
第15回 9/8	ホームルーム	前期総括及びその他、諸々の連絡事項（海外研修など）					担任										
教科書	実践！キャリア・コミュニケーション																
参考書																	
成績評価	単位認定	出席率80%以上と課題提出をもって、合否判定を行う。															
履修のポイント	コミュニケーション力を最重要としている。																
オフィス・アワー	動物業界のアルバイトを通じて、実践的に学ぶ。																

平成28年度 シラバス

科目名	キャリデザインⅡ (ロングホームルーム)		担当者	担任	学科	ペット総合科	開講期	後期								
区分	キャリア基礎分野 理論		選択 必須	単位 (時間)	1 30時間	学年	2年	曜日 木曜日 時限 1時限								
授業の概要	就職活動に実践で活用できる内容の学習と習得															
学習目的	就職内定100%															
学習目標	就職活動に関する必要な知識を学び、個々の就労意識を高め、就職活動に役立てる															
授業計画																
回	主題		授業内容				備考									
第1回 10/6	就職活動報告		就職活動に関する個別報告会/面接事例集100選(22~43) ※グループ面談実施				担任・C S室 学科長・教務課長									
第2回 10/13	就職活動報告		就職活動に関する個別報告会/面接事例集100選(44~67) ※グループ面談実施				担任・C S室 学科長・教務課長									
第3回 10/20	ロングホームルーム		ほりかわ祭準備及び確認事項 (必要に応じて学生個人面談実施)				担任									
第4回 11/10	ロングホームルーム		海外研修説明会、その他ほりかわ祭実施 (必要に応じて学生個人面談実施)				担任									
第5回 11/17	卒業制作発表会		6~8名 1グループ 合計10グループ編成会議 ※グループ別の発表テーマのディスカッション				担任									
第6回 11/24	ロングホームルーム		海外研修課題作成とグループワーク (海外研修不参加学生は就職活動報告)				担任・C S室 学科長・教務課長									
第7回 12/1	ロングホームルーム		ドッグショーについてのおさらいと課題作成方法				担任									
第8回 12/8	ロングホームルーム		海外研修課題提出及び発表会				担任									
第9回 12/15	ロングホームルーム		ドッグショー課題提出と発表				担任									
第10回 1/12	ロングホームルーム		愛玩動物飼養管理士資格試験対策自習				担任									
第11回 1/19	就職活動報告		就職活動に関する個別報告会/面接事例集100選(68~100) ※グループ面談実施				担任・C S室 学科長・教務課長									
第12回 1/26	卒業制作発表会		各グループ別の発表準備とタイムスケジュール検討 (発表順番・プログラム・必要備品など)				担任									
第13回 2/2	卒業制作発表会		各グループ別の発表準備とタイムスケジュール決定 (発表順番・プログラム・発表内容を最終決定)				担任									
第14回 2/9	ロングホームルーム		単位認定試験対策自習				担任									
第15回 2/16	卒業制作発表会		各教室でのリハーサル				担任									
教科書																
参考書																
成績評価	単位認定		出席率80%以上と課題提出をもって、合否判定を行う。													
履修のポイント	コミュニケーション力を最重要としている。															
オフィス・アワー	動物業界のアルバイトを通じて、実践的に学ぶ。															

平成28年度 シラバス

科目名	基本 I T 技術 I		担当者	小島	学科	ペット総合	開講期	前期							
区分	キャリア基礎分野 講義・実習	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2 年次	曜日	金							
授業の概要	コンピュータを利用した事務作業で必要な文書の作成やマナーについて学習。 必要な技術を効率良く行えるよう繰り返し練習する。														
学習目的	必要に応じたコンピュータの利用技術の取得。														
学習目標	①コンピュータの基礎を理解し、メールやフォルダの作成ができるようになる。 ②Wordの操作を学習し、ビジネス文書や見栄えの良い文書を作成できるようになる。 ③ビジネス文書やビジネスメールについての構成やマナーを理解する。														
授業計画															
回	主題	授業内容					備考								
第1回	コンピュータの基本操作とWordの基本	ログイン、メールアドレス登録、課題提出の仕方。 Wordの画面構成と文字入力													
第2回	ビジネス文書の作成	ビジネス文書・メールの基礎知識 ページ設定、文字修飾について													
第3回	文書の作成	挨拶文の挿入、段落番号、インデントやタブについて													
第4回	表の作成	表を挿入し、編集する													
第5回	表の編集	表の体裁を整える													
第6回	表現力アップ	ワードアートや画像などの挿入・編集													
第7回	表現力アップ	図形、テキストボックスの作成・編集													
第8回	ビジュアル文書の作成	SmartArtグラフィック、ページ罫線の挿入・編集													
第9回	長文の作成	ヘッダー・フッター、段組みについて													
第10回	プレゼンテーション資料の基本	画面構成とスライドの作成													
第11回	オブジェクトや表の挿入・編集	画像や図形・図表、表の挿入と編集													
第12回	特殊効果の設定	画面の切り替え効果やアニメーション効果													
第13回	プレゼンテーションと試験範囲	プレゼンテーションについて 試験対策のポイント、確認					試験範囲説明								
第14回	試験実施	試験の実施					単位認定試験								
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説					試験解説								
教科書	情報基礎 Word & Excel 2013														
参考書															
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。														
履修のポイント															
オフィス・アワー															

平成28年度 シラバス

科目名	基本 I T 技術 II		担当者	小島	学科	ペット総合	開講期	後期						
区分	キャリア基礎分野 講義・実習	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2 年次	曜日	金						
授業の概要	コンピュータを利用したビジネス作業で必要なプレゼンテーション・表計算について学習。必要な技術を効率良く行えるよう繰り返し練習する。													
学習目的	必要に応じたコンピュータの利用技術の取得。													
学習目標	①Power Pointを利用したプレゼンテーション資料の作成とプレゼンテーションについて理解する。 ②Excelを使った表計算やグラフの作成ができるようになる。 ③データベース機能についての理解と必要なデータを効率よく管理・運用できるようになる。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	プレゼンテーションの作成		プレゼンテーションの作成											
第2回	プレゼンテーションの作成		プレゼンテーションの作成											
第3回	プレゼンテーションの実施		プレゼンテーションの実施											
第4回	エクセルの基礎		エクセルの基本操作と簡単な表の作成											
第5回	エクセルの基本		表の作成、演算子や数式について											
第6回	数式の利用		関数の理解、オートSUMボタンを利用した関数の利											
第7回	割合計算と関数の利用		絶対参照と相対参照、関数の挿入ボタンを利用し た関数 について											
第8回	グラフ		グラフの作成・編集											
第9回	条件で判断		I F 関数とその他の関数											
第10回	エラー処理と表の作成		エラーの対処と表の作成											
第11回	データベース機能		並べ替え、データの抽出、条件付き書式につ											
第12回	差し込み印刷		差し込み印刷											
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明							
第14回	試験実施		試験の実施				単位認定試験							
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説							
教科書	情報基礎 Word & Excel 2013													
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	総合学習Ⅱ		担当者		学科	ペット総合科	開講期	後期						
区分	キャリア基礎分野 理論	選択必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	2年次	曜日							
授業の概要	普段、学内では体験できない事を、外部の施設・イベントに参加をする。													
学習目的	外部の施設・イベントに参加をし、専門職者としての技術と人間力を高める。													
学習目標	① 普段扱わない生き物の管理を行う。 ② 実社会に触れることによって、学習意欲が向上する。 ③ 集団行動を身につける。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	校外学習													
第2回			JKCドックショー、動物感謝デー、盲導犬センター、インナーナショナルドックショー等のイベントに参加、または研修を行い、学内では体験できない事を行う。											
第3回														
第4回														
教科書	特にありません													
参考書	特にありません													
成績評価	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない													
履修のポイント	単位認定 60点以上 実務記録提出													
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	実務研修Ⅱ		担当者		学科	ペット 総合科	開講期	半期							
区分	社会人基礎力分野 実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	2年次	曜日 時限								
授業の概要	実際のペットショップ・動物病院に勤務を体験（研修）し、これを通して、専門知識を実社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要かを考える能力を身に付ける。														
学習目的	(1) 就職を考えさせ早期就職内定へ繋げる。 (2) ペット業界での自分の適性や仕事の内容について自己分析する。 (3) ペット業界への関心・就職への意欲を高め、日々の学校生活に対する意欲を高める。														
学習目標	1. ペットショップ・動物病院の実践的経験を積む 2. 職業意識を持つ 3. いろいろな人の持つ考え方や行動に触れる事により、学生としてではなく、社会人としてのマナーや責任感を身につけることができ、実践的な経験により、自主的に行動ができる人材になる。														
授業計画															
回	主題	授業内容				備考									
第1回	8月（1年）	サロン訪問													
第2回	9月上旬（1年）	インターンシップについての目的について確認													
第3回	10月上旬（1年）	ペットショップ・動物病院研究インターンシップ先希望先を提出													
第4回	10月中旬（2年）	インターンシップ先の誓約書記入・事前連絡・インターンシップ受け入れについてのお願い・依頼の電話連絡を入れる													
第5回～8回	10月中旬（3年）	学生インターンシップ・ペットショップ・動物病院訪問・実務記録を提出する													
第9回	3月（2年）	ペットショップ・動物病院訪問													
第10回	4月上旬（2年）	ペットショップ・動物病院研究インターンシップ先の希望調査書を提出、インターンシップ先誓約書に記入・事前連絡を入れる													
第11回	5月上旬（2年）	インターンシップについての目的確認・インターンシップ受け入れについてのお願いをする。													
第12回～15回	5月中旬（2年）	インターンシップ先のペットショップ・動物病院等訪問実務記録を提出する													
教科書															
参考書															
成績評価	出席 100%が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわず、欠席・時間不足者については振替登校日に課題等をさせる。														
履修のポイント	単位認定 60点以上 就業報告書・実務記録・課題等の提出														
オフィス・アワー	(原則として補講は行わない)														

平成28年度 シラバス

科目名	卒業研究		担当者		学科	ペット 総合科	開講期	半期						
区分	社会人基礎力分野 理論／実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	2年次	曜日 時限							
授業の概要	プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかり相手に伝える積極的な意思表現ができる。													
学習目的	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を覚え、プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に話し方などの口頭表現・身体表現ができる。													
学習目標	1. 論理的に物事を考えられる。 2. 限られた時間の中で、自分の考えが効果的に述べられる。 3. 聴き手に感動を与えるような話し方ができる。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	プレゼンテーションとは		プレゼンテーションの種類と定義を覚える											
第2回	コミュニケーションとプレゼンテーション		コミュニケーションとプレゼンテーションの違いについて答えられる											
第3回	プレゼンテーションの目的		紹介のプレゼンテーションができる											
第4回	プレゼンテーション準備と流れ1		聞き手の分析や目的の明確化ができる											
第5回	プレゼンテーション準備と流れ2		プラン作成やツールについてを覚える											
第6回	聴衆に好感を持たれる話し方の基本		聴衆に好感を持たれる話し方の基本ができる											
第7回	バーバル表現		聴衆に好感を持たれる態度、演出法ができる											
第8回	ノンバーバル表現		聴衆に好感を持たれる態度、演出法できる											
第9回	身近なプレゼンテーション		スピーチ・フリートークができる											
第10回	パブリックスピーキング1		インタビューをする											
第11回	パブリックスピーキング2		会議と司会をする											
第12回	パブリックスピーキング3		学校生活について話してみる											
第13回	説明と説得のプレゼンテーション		グループワーク											
第14回	発表に向けてのリハーサル		発表に向けて、一通り行う											
第15回	プレゼンテーション発表と振り返り													
教科書														
参考書														
成績評価	単位認定 60点以上 プrezentation課題提出													
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない													
オフィス・アワー	随時													

平成28年度 シラバス

科目名	イベントプロジユース		担当者		学科	ペット 総合科	開講期	半期						
区分	社会人基礎力分野 理論/実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1 / 2 年次	曜日 時限							
授業の概要	具体的なイベント活動の企画・運営を通して企画力・実行力・協調性など社会人基礎力をつける。													
学習目的	イベントを企画する段階から時間軸のプロセスを経て、「最終的な目的達成」のために最高のパフォーマンスを発揮できるよう、イベントのノウハウや、プランニング方法等を実際のイベント運営を通して、具体的に学び、これからのイベントの方向性を探っていく。													
学習目標	イベントの企画から実際にイベント運営を体験し、制作ノウハウを身につける。 自分達の考えたイベントが来場者にどう評価されたかを調査・分析し、グループワークで各自が役割に対する責務を果たし、チーム全体の力を発揮することができる。													
授業計画														
回	主題		授業内容			備考								
第1回	授業ガイダンス		2015年度のイベントについて											
第2回	イベントとは?		イベントの意義について											
第3回	イベントの目的		イベントには、必ず実施する側に明確な「目的」があって、その手段として行える。											
第4回	プランニングと運営について		プランニング（計画生）の重要性と運営について覚える											
第5回	イベント企画会議(1)		実際の行事の企画会議を実施する。（ほりかわ祭）											
第6回	イベント運営のグループワーク(1)		イベント運営とグループワーク（ほりかわ祭）											
第7回	具体的なイベント運営のシミュレーション(1)		運営シミュレーション（ほりかわ祭）											
第8回	イベント運営の実際(1)		ほりかわ祭について（1）											
第9回	イベントプロデュースの分析と展望(1)		ほりかわ祭について（2）											
第10回	イベント企画会議(2)		実際の行事の企画会議を実施する。（就職egg）											
第11回	イベント運営のグループワーク(2)		イベント運営とグループワーク（就職egg）											
第12回	具体的なイベント運営のシミュレーション(2)		運営シミュレーション（就職egg）を行う											
第13回	イベント運営の実際(2)		就職eggについて（1）											
第14回	イベントプロデュースの分析と展望(2)		就職eggについて											
第15回	まとめ													
教科書														
参考書														
成績評価	単位認定 60点以上 各イベントの参加状況・運営・実施状況にて総合判断													
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない													
オフィス・アワー	随時													

平成28年度 シラバス

科目名	企業研究		担当者		学科	ペット総合科	開講期	半期							
区分	社会人基礎力分野 理論/実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1/2年次	曜日 時限								
授業の概要	前半では、就職を希望するペットショップ・動物病院の調査法、インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、インターンシップに参加する前提として、インターンシップの目的・参加の心構え・ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備を行なう。インターンシップ終了後は、インターンシップを通じて得た知見や経験を体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書が作成できる。（交通費等の費用は原則自己負担）														
学習目的	自分自身の視点から調査・分析出来る能力を身につけ、就職につなげる。自己の職業適性や将来設計について考える機会を得ることにより、高い職業意識の育成を計るとともに、自ら職業選択の明確な基準軸を見つける。														
学習目標	現場などで働きながら実務についての知識や経験を積む実務を行う。報酬はなく、学内の勉学だけでは得られない体験ができる、現場での就業・実務体験を通して、働くことの意義・働くための資質等を理解し、将来の進路選択に資する経験・見識をつかむことができる。また、責任感・時間厳守・守秘義務など社会でのルールとして守るべき事項が認識できる。 ① 自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を持つ。 ② 実社会に触れることによって、学習意欲をつける。 ③ 人間性（思いやり・公共心・倫理観）を高め、基本的な生活習慣を身に付ける。														
授業計画															
回	主題	授業内容				備考									
第1回	業界研究	就職を希望するペットショップ・動物病院に関して、仕事の内容、仕事の条件、その業界内における当該企業の位置づけと将来性はどのようにになっているのか等、自分自身の視点から調査・分析													
第2回	実務研修の依頼	就職を希望するペットショップ・動物病院の調査法。インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、企業等とのマッチング、日程調整													
第3回	実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。													
第4回	実務研修														
第5回															
第6回															
第7回															
第8回		受入れ事業所で就業体験（実習日誌）													
第9回															
第10回															
第11回															
第12回															
第13回															
第14回	インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有することを目的に体験報告を行なう。それが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。													
第15回															
教科書	特にありません														
参考書	特にありません														
成績評価	事前研修及び研修状況（50%）、研修後のレポート及び報告会（50%）で評価する。レポートでは、インターンシップを通じてその業界で活躍するために身につけなければならないことについて報告させる。定期試験は無し														
履修のポイント	インターンシップはキャリア教育科目である。社会人としてのマナーが厳しく問われる。欠席・遅刻、早退は論外である。自覚して臨んでほしい。														
オフィス・アワー															

平成28年度 シラバス

科目名	ボランティア活動		担当者		学科	ペット総合科	開講期	随時
区分	社会人基礎力分野 理論/実習	選択科目	単位 (時間)	2 (60)	学年	1 / 2 年次	曜日 時限	2
授業の概要	各分野で活動する実践者によるオムニバス方式での講義をとおして、ボランティア活動の価値、意義、役割、実際の活動等について理解を深めた後に、実際にボランティア活動を行う。施設見学や実際のボランティア体験等を行う予定なので、シラバスの変更（施設との調整などにより）が行われることもある。							
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動はもうひとつの信頼を育むコミュニケーションであることを覚える ・ボランティア活動のリスクなどについても学び、専門職として関わることを前提とした学びの視点、実践活動を通じたスキルや知識を覚える ・主体的にボランティアに参加することができる人材になる 							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の基礎を覚え、ボランティア活動に対するイメージを広げる ・ボランティア活動の歴史を知り、現在求められているボランティア活動意義や社会的役割を身につける ・NPOやコミュニティ・ビジネスなど新たな非営利団体の概要を覚える ・身近な課題を解決するボランティア活動について、自らデザインできるようになる ・ボランティアを実際に体験することで、コミュニケーションと共感の大切さを学ぶ 							

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	講義ガイド ボランティア活動とは	ボランティアの理念（無償性、自主性、公益性） ボランティア活動の社会的意義	
第2回	ボランティアのタイプと活動パターン	ボランティアはあらゆる分野に及んでいる。ボランティア活動の種類と内容、ボランティアのタイプと活動パターン	
第3回	ボランティア活動におけるリスク管理	ボランティア活動の基本原則 ボランティア活動における自己責任・義務	
第4回	ボランティア活動 (外部講師)	実際のボランティア活動の説明・意義・参加について	
第5回	ボランティア活動についてグループディスカッション	実際のボランティア活動に参加するにあたっての、各人の役割・分担、その他事前準備	
第6回			
第7回	ボランティア活動への参加 6月21日（土） 骨髓バンク全国大会における道案内・受付	ボランティア体験（1）（こちらで調整したボランティア活動への参加）ボランティアの日程は、活動団体によって決まるので時期がずれることがある	
第8回			
第9回			
第10回	ボランティア活動の報告・検討会	ボランティア体験に基づく結果の報告、気づき、等を発表し全員で討議する	
第11回	ボランティア活動計画の作り方	自分が主体的にボランティア活動に参加するために活動計画をつくり、参加の申し込み等アレンジする	
第12回			
第13回	ボランティア活動への参加	ボランティア体験（2）（自分で調整したボランティア活動への参加）	
第14回			
第15回	総括 ボランティア活動の展開	ボランティア成果検討・発表会、各人のボランティアについての考え方等を討議し、今後の展開について話し合う	
教科書	なし		
参考書	岡本 栄一監修：ボランティアのすすめ—基礎から実践まで（ミネルバ書房） 金子 郁容著：ボランティア—もうひとつの情報社会（岩波新書）		
成績評価	講義参加態度及びレポートを基に評価をする。活動実践もあるものは評価対象とする。講義・グループセッション等参加態度等も加味して総合的な評価を行う。意欲的で積極的な参加が望ましい。 活動報告書の記載内容は、所定の用紙をあらかじめ配付するが、(1)活動日時・場所・実働時間、(2)活動内容(簡潔に)、(3)活動の自己評価(400字程度)の3項目からなる。		
履修のポイント	出席時間不足のための補習は行なわない。 上記シラバス外の外部外部講師による授業等ボランティア科目として認めるものもある。		
オフィス・アワー	随時		

平成28年度 シラバス

科目名	ホリスティック		担当者	宮木	学科	ペット総合科	開講期	後期						
区分	ペット総合分野 理論/実習	選択科目 (時間)	単位 (時間)	1 (30)	学年	1/2年次	曜日	金						
授業の概要	自然治癒力を高め、心と身体全体をとらえ、健康を管理する必要性と方法を覚える。東洋医学を踏まえた指圧、各種マッサージの実技を身につける。													
学習目的	副作用の強い治療や薬剤の耐性、高齢犬に対する麻酔などのリスクが高く、より優しい治療を求める飼い主が多くなった中、マッサージなどの代替治療（ホリスティック）を学ぶことにより健康に対する知識を身につける。													
学習目標	1. ホリスティックケアとは何かを覚える。 2. Tタッチの働きと方法、効果を覚える。 3. リンパマッサージの方法と効果を理解し、身につける。 4. 経絡とツボを知ることにより、症状を改善できることを覚える。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	ホリスティック総論		ホリスティックとは何か、自然治癒力とは何かを覚える											
第2回	Tタッチとは		Tタッチの働き、作用、方法											
第3回	Tタッチの種類（1）		ノアのマーチ、アバロニ、クラウデッドレパートのTタッチ											
第4回	Tタッチの種類（2）		タイガー、ラマ、パイソン、タランチュラのTタッチ											
第5回	Tタッチの種類（3）		耳のTタッチ、口のTタッチ、しっぽのTタッチ											
第6回	Tタッチで問題解決		それぞれの問題行動の軽減と解決のためのセッションの作り方											
第7回	Tタッチの応用		我が家の犬にあったTタッチセッションを組み立てよう											
第8回	リンパマッサージ（1）		リンパの仕組み、効果、注意すること											
第9回	リンパマッサージ（2）		基本テクニック、基本マッサージの方法											
第10回	東洋医学の仕組み		東洋医学の哲学、病気の見きわめ方											
第11回	経絡と経穴		経絡とは、経穴とは、14経絡の流れ											
第12回	ツボマッサージ各論（1）		症状別マッサージ方法① 肩こり、腰痛、風邪											
第13回	ツボマッサージ各論（2）		症状別マッサージ方法② 肥満、やる気、イライラ											
第14回	ツボマッサージ各論（3）		症状別マッサージ方法③ 緊張をほぐす、熱中症、老化、皮膚のかゆみ											
第15回	ツボマッサージ各論（4）		症状別マッサージ方法④ 食欲不振、便秘・下痢、心臓病、目のトラブル、吐き気、尿のトラブル											
教科書	ホリスティック													
参考書														
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 日常の課題点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	アロマ		担当者	松永	学科	ペット総合科	開講期	後期							
区分	ペット総合分野 理論/実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1 / 2 年次	曜日 時限	金 1							
授業の概要	ペットアロマを学び、実習を通じて実際にモデル犬に使用して実践できる。														
学習目的	どのようにペットアロマを取り入れると効果的かを覚える。														
学習目標	精油・キャリアオイル・クレイの効能を理解し、効率的に使用することができる。														
授業計画															
回	主題	授業内容				備考									
第1回	ペットアロマセラピーとは	アロマの概念 精油の使用方法・抽出方法													
第2回	精油を使用するにあたって（1）	精油の取り込みルート 皮膚・血液・嗅覚													
第3回	精油を使用するにあたって（2）	ストレス反応と精油の取り入れ方													
第4回	精油に含まれる各成分	成分分析（各種作用（精神的・肉体的）について分析を行う）													
第5回	精油に含まれる各成分	成分分析での精油の選び方													
第6回	精油（1）	精油のブレンド方法と精油の選び方													
第7回	精油（2）	精油のブレンド方法と精油の選び方													
第8回	キャリアオイル（1）	代表的なキャリアオイルの種類とその効果 飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸の違い													
第9回	キャリアオイル（2）	キャリアオイルの種類と効果 キャリアオイルの選び方													
第10回	クレイ	クレイの種類と成分 使用方法													
第11回	アロマ実習（1）	パッドクリーム①制作													
第12回	アロマ実習（2）	バスボム制作													
第13回	アロマ実習（3）	イヤーローション クリーム制作													
第14回	アロマ実習（4）	ブラッシングスプレー パッドクリーム②制作													
第15回	ペットアロマ	マッサージとの併用について まとめ													
教科書	ホリスティックケア														
参考書															
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 日常の課題点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。														
履修のポイント															
オフィス・アワー	実習内容によって、ホリスティックと合同授業を行う。														

平成28年度 シラバス

科目名	ペット経営学		担当者	金森	学科	ペット総合科	開講期	半期
区分	社会人基礎力分野 理論		選択科目 (時間)	単位 (30)	1	学年 2年次	曜日 金曜日	時限 1限目
授業の概要	<p>美容をビジネスの観点から見ていく。サロン経営、店舗運営に直結する内容を講義するとともに、最新の美容業界の動きもつねにチェックする。授業は座学を中心とする。</p> <p>また、理解しやすいよう、適宜視覚教材を利用する。</p>							
学習目的	<p>美容業界は今後ますます競争が激化していく状況の中で、今後サロンが生き残っていくためには、経営・マネジメントの知識がどうしても必要となる。将来サロンを持つときに、あるいは店長となって店舗を管理する立場になったときに必要となる経営・マネジメントの基礎を覚える。経営・マネジメントの知識は決して経営者や店長となって、はじめて必要となるものではなく、実はサロンに就職したときからすでに必要となってくるものである。競争が厳しい美容業界においては、経営・マネジメントの視点を持つことも、これから美容師のあるべき姿で、今のうちからしっかりとビジネス感覚を身につけた人材になる。</p>							
学習目標	<p>美容業界をビジネスの観点から分析できる力を身につける。就職したときに、そして将来サロンを持つときに、店長になったときに役立つ知識とビジネス感覚を身につける。</p>							
授業計画								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	起業、独立開業に必要なマインド(1)	フレームワークの復習 ①						
第2回	起業、独立開業に必要なマインド(2)	フレームワークの復習 ②						
第3回	事業計画書とは(1) (骨組を考える)	企業概要、経営理念、事業の目的、						
第4回	事業計画書とは(2) (骨組を考える)	将来ビジョン						
第5回	事業計画書の作成方法(1) 事業内容を明確にする	市場環境と商品、サービスの特徴						
第6回	事業計画書の作成方法(2) 事業内容を明確にする	販売、提供価格の設定						
第7回	事業計画書の作成方法(3) 事業内容を明確にする	マーケティング戦略						
第8回	事業計画書の作成方法(4) 事業内容を明確にする	仕入れ方法						
第9回	事業計画書の作成方法(5) 事業内容を明確にする	事業上の問題点、リスクの検討						
第10回	事業計画書の作成方法(6) 事業内容を明確にする	競合他社分析 ①						
第11回	事業計画書の作成方法(7) 事業内容を明確にする	競合他社分析 ②						
第12回	事業計画書の作成方法(8) 事業内容を明確にする	組織、人員計画 ①						
第13回	事業計画書の作成方法(9) 事業内容を明確にする	組織、人員計画 ②						
第14回	事業計画書の作成方法(10) 事業内容を明確にする	事業スケジュール						
第15回	事業計画書の作成方法(11) お金の裏付け	事業、商品別売り上げ利益計画						
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 60点以上 出席率 80%以上							
履修のポイント								
オフィス・アワー								

平成28年度 シラバス

科目名	愛玩動物飼養管理学特論		担当者	松永（北村）	学科	ペット総合科	開講期	通期
区分	ペット総合分野 理論	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1／2 年次	曜日	
授業の概要	愛玩動物飼養管理士試験【1級】に関連する内容を覚える。							
学習目的	愛玩動物飼養管理士1級の合格レベル、知識を覚える。							
学習目標	愛玩動物飼養管理士1級に合格する。							
授業計画								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	愛玩動物飼養管理学(1)	動物愛護論Ⅱ ①						
第2回	愛玩動物飼養管理学(2)	動物愛護論Ⅱ ②						
第3回	愛玩動物飼養管理学(3)	動物関係法令Ⅱ ①						
第4回	愛玩動物飼養管理学(4)	動物関係法令Ⅱ ②						
第5回	愛玩動物飼養管理学(5)	動物の行動と社会 ①						
第6回	愛玩動物飼養管理学(6)	動物の行動と社会 ②						
第7回	愛玩動物飼養管理学(7)	動物の遺伝と繁殖生理 ①						
第8回	愛玩動物飼養管理学(8)	動物の遺伝と繁殖生理 ②						
第9回	愛玩動物飼養管理学(9)	動物の疾病とその予防 ①						
第10回	愛玩動物飼養管理学(10)	動物の疾病とその予防 ②						
第11回	愛玩動物飼養管理学(11)	総復習 試験対策 ①						
第12回	愛玩動物飼養管理学(12)	総復習 試験対策 ②						
第13回	愛玩動物飼養管理学(13)	動物の飼養管理と公衆衛生						
第14回	愛玩動物飼養管理学(14)	自然と人間						
第15回	愛玩動物飼養管理学(15)	犬と猫の栄養学						
教科書	愛玩動物飼養管理士【1級】教本 第1・2巻							
参考書								
成績評価	各項目では、理解力テストを行う。 単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 理解力テスト点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	愛玩動物飼養管理士資格試験受験後につき、学年末試験はなし							
オフィス・アワー	各項目では、理解力テストを行う。							

平成28年度 シラバス

科目名	サービス接遇特論		担当者		学科	ペット 総合科	開講期	半期							
区分	社会人基礎力分野 理論	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1 / 2 年次	曜日 時限								
授業の概要	専門的な技術・理論を学び就職に役立てるようになる。														
学習目的	サービス業に従事する者としての心構え、知識、接遇待遇を覚える。														
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表現力を始めとするコミュニケーション能力を身につける。 ・立ち居振る舞いやマナーといった人間力を身につける。 ・出会った一瞬で、その人に似合うかを見極める完成を養うスタイリングができる。 														
授業計画															
回	主題	授業内容				備考									
第1回	ホスピタリティー	リッカートンのオリエンテーション内容													
第2回	席次	応接室・車・エレベーター・エスカレーター・レディフヤースト													
第3回	お客様へのお茶の出し方	テーブルマナー													
第4回	電話対応の基本	電話対応の基本的な知識を覚える													
第5回	手紙のマナー	正しい手紙の書き方を覚える													
第6回	カウンセリングの技法復習	ほめ上手、褒められ上手のコツ													
第7回	カウンセリング実習	表現力の鍛え方(わかりやすい話し方のコツ)立ち振る舞い復習:座り方・上着の脱着・荷物の持ちかた、手の表情(ファイルの持ち方・指さし)ができる				五十嵐先生担当									
第8回	センスアップ実習	体型や似合う色を含めた自己分析＆ファッションコンセプトの視覚化(各自雑誌持参)													
第9回	プレゼン(1)	各ファッションコンセプトに基づいた自分の魅力プロゼンテーション①													
第10回	プレゼン(2)	各ファッションコンセプトに基づいた自分の魅力プロゼンテーション②													
第11回	リベラルアート(1)	問題集:ビジネスマナー													
第12回	リベラルアート(2)	問題集:ファッション・スタイル													
第13回	リベラルアート(3)	問題集:素材・色													
第14回	リベラルアート(4)	問題集:ヒストリー・カルチャー・美容・心理の分野													
第15回	まとめ	試験対策&予備知識													
教科書	パーソナルスタイルリスト ファッションマイスター検定2級問題集														
参考書															
成績評価	単位認定:パーソナルファッションマイスター検定準2級／前期試験:60点以上 出席8割以上・ペーパーテスト・授業態度														
履修のポイント	パーソナルスタイルリスト ファッションマイスター検定準2級														
オフィス・アワー															

平成28年度 シラバス

科目名	ビジネス文章力		担当者		学科	ペット総合科	開講期	半期						
区分	社会人基礎力分野 理論/実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1/2年次	曜日							
授業の概要	美しい字を書く。 ビジネス文書に関わる知識・技術を実際に活用できる。 手紙・はがきを書くルールやマナーを活用する。													
学習目的	社会人として必要なビジネス文書のマナーとルールを活用して社会生活を送る。													
学習目標	日常的に美しい字を書けるようになる。 ビジネスで必要とされる漢字が書ける。 ビジネス検定2級合格。 社会に通用する手紙・はがきが書けるようになり、実際に送る													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	ビジネス文書の必要性を知る		ビジネス文書の必要性を知り、人に伝える事ができる ビジネス文書検定の詳細を知り受験までの計画を立てる											
第2回	ビジネス文書が作成できる(1)		正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く ビジネス文書の書式を知り活用できる											
第3回	ビジネス文書が作成できる(2)		正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く ビジネス文書の書式を知り活用できる											
第4回	ビジネス文書が作成できる(3)		正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く ビジネス文書の書式を知り活用できる											
第5回	ビジネス文書が作成できる(4)		正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く 正確で分かりやすい文章が書ける											
第6回	ビジネス文書が作成できる(5)		正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く 正確で分かりやすい文章が書ける											
第7回	ビジネス文書が作成できる(6)		正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く 正確で分かりやすい文章が書ける											
第8回	ビジネス文書が作成できる(7)		正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く 社内文書や社外文書が書けるようになる・取り扱いのルールを覚える											
第9回	ビジネス文書が作成できる(8)		正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く 社内文書や社外文書が書けるようになる・取り扱いのルールを覚える											
第10回	ビジネス文書が作成できる(9)		正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く 社内文書や社外文書が書けるようになる・取り扱いのルールを覚える											
第11回	模擬テスト		ビジネス文書検定模擬テスト実施 ・ 解答・解説をしてテスト前の総復習											
第12回	郵便物のルール 電子媒体のビジネス文書		郵便物のルールを知り活用する 電子媒体のビジネス文書のルールとマナーを活用する											
第13回	暑中見舞いを作成する		学習した知識を活用して暑中見舞いを実際に作成して郵送する											
第14回	お礼状を作成する(1)		学習した知識を活用して卒業した高校へお礼状を送る①											
第15回	お礼状を作成する(2)		学習した知識を活用して卒業した高校へお礼状を送る②											
教科書	ビジネス文書検定受験ガイド1・2級													
参考書														
成績評価	検定合格《50%》、制作物の完成度《40%》、出席《10%》、出席回数12回以上(4回目欠席より不可)、・原則として補講は実施しない、・遅刻3回で1回の欠席とする							単位認定 60点以上						
履修のポイント	出席 80 %以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない													
オフィス・アワー	随時													

平成28年度 シラバス

科目名	論理的思考力		担当者		学科	ペット総合科	開講期	半期						
区分	社会人基礎力分野 理論	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1 / 2 年次	曜日							
授業の概要	日常生活に関する題材を取り上げ、論理的な思考力をつけ、数学的な考察を行える。 小学校の算数程度の力だけで楽しみながらできる。													
学習目的	一般にビジネス、つまり仕事におけるコミュニケーション能力とは論理的な表現力を指し、情報の収集、整理・統合、思考そして発信に至るまで論理的であることが要求されるため、今日、社会人として求められる能力の1つであるコミュニケーション能力を数学的思考を通して身につける。													
学習目標	社会に適応しその要求する能力を身につける。学校で受けたすべての知識を忘れ去った後でも、なおかつ一生涯に役に立つような、論理的思考力・表現力をつける。『数学』と『読解力・表現力』は教育の指標としては同じカテゴリーに分類される。つまり、『数学』はまさに『ことばの力』を習得する学問であるとの認識を前提に、自然や日常にひそむ様々な問題を、算数・数学がこの世界・社会で果たしている役割を見つけ、理解する能力を身につける。さらに、現実に社会生活を送る市民として、そのさまざまな状況での必要性に合致した方法で数学を活用し、数学とよい関係を結んでいくことのできる能力をつける。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	インド式計算法		2桁の掛け算・割り算・足し算・引き算も驚くほど簡単に計算ができるようになるインド式数学による計算法ができる。											
第2回	天文学的数字の計算		ミクロの世界からマクロの世界まで幅広いレンジの指数計算。銀行預金やローンの金利から音楽の世界、さらには自然界の現象まで											
第3回	地頭力		「答えのない問題を解いていく力」、すなわち地頭力を鍛える5つの方法を覚える。											
第4回	ひとつでがき		一見複雑な問題を、本質的に必要な部分を抽象化し、解析することにより結論を導き出せる。											
第5回	トイレットペーパーの長さを測るには?		問題を解くためにはいろいろな方法があります。見方を変えれば、複雑な問題も簡単に解くことができる。											
第6回	頭の中なら自由に動かせる		問題を解くとき、考える対象が大きくて頭の中でなら自由に動かせる。											
第7回	キーパーソンを探せ		発言の矛盾を見つけ出すには、数学的な論理力が必要である。推理の進め方について覚える。											
第8回	鏡の不思議		鏡は左右は入れかえるのに上下は何故変わらないのか。自然界の右と左と鏡の中の世界の話を聞く。											
第9回	偶然を科学する		世の中には偶然と思われる現象がたくさんある。しかし、偶然と思われる現象にも原因があることを覚える。											
第10回	でたらめを科学する		0から10までの数字をでたらめに並べたものを乱数という。乱数を作る方法から、乱数の応用までを活用できる。											
第11回	幸せな結婚		あなたはこれからお見合いをします。目の前に現れる花嫁さん候補はN人。できれば、一番素晴らしい女性を選びたいところですが…											
第12回	暗号の秘密		インターネットを経由して情報のやり取りを行う場合、悪意のある第三者に情報を盗み見される危険性を防止するには?											
第13回	素数の秘密		素数とは5や7のように他の数で割り切ることができない数。その素数には何か隠された魅力があるようです。そのなぞが解ける。											
第14回	モンティホール問題		直感的な答えと、きちんと確率論に則って導き出された答えが異なるテレビ番組から生まれた史上最も議論を呼んだ確率問題が解ける。											
第15回	パラドックスを楽しむ		妥当に見える推論のどこに間違いがあるかをクイズとして楽しみ、数学的推論に対する教訓を得る。											
教科書	なし													
参考書														
成績評価	単位認定 参加型の授業で単位を認定する。期末試験は行わない。80%以上の出席が前提。													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

平成28年度 シラバス

科目名	ビジネス英語		担当者		学科	ペット総合科	開講期	半期						
区分	社会人基礎力分野 理論/実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1 / 2 年次	曜日							
授業の概要	おもにペットショップでの応対についていろいろな場面での会話を覚え、授業は簡単な会話を中心としペット分野に必要な表現・用語を併せて覚える。													
学習目的	ペットショップに外国人を迎えたときばかりでなく、多くの場面で国際的なコミュニケーションが必要になっている。トリマーやトレーナー、アドバイザーなどの活躍する場所も今後日本ばかりではなく、海外のペットショップで働いたり、留学したりと多くのステージが考えられる。新しい時代にはばたくために、国際語としての英語を自分のものにする。													
学習目標	単語や文法を覚えるだけでなく、英語でコミュニケーションできるようになる。中学1、2年で学ぶ内容をカバーしながら、英語で基本的なやりとりができる力を身につける。 ペットショップに外国人を迎えた時、最低限の意思疎通を図ることができるようになる。さらに海外旅行、留学、ホームステイなど、今後活躍するステージを広げていくために、会話の勉強を続けていくためのきっかけを見つける。													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	自己紹介とあいさつ（1）		あらたまつた場面でなく、親しみをこめてあいさつを交わし、会話のきっかけをつくっていく。名前や職業を言う、名前や出身地を尋ねるなどが行える。											
第2回	あいさつ（2）		はじめて会った時、友人とのあいさつ、人や物を紹介できる。友人と別れる時の挨拶の仕方を覚える。											
第3回	あいさつ（3）		人や物の状態・特徴をたずねることができる。元気？だいじょうぶ？などとたずねられる。											
第4回	予約のないお客様を迎える		受付、予約の確認、待ち時間の確認などができる。 曜日や日づけ、時間などをたずねたり、答えたりできる。											
第5回	電話予約を受ける		電話で、簡単な用件をたずねたり、伝えたりできる。曜日や日づけ、時間をなどをたずねたり、答えたりできる。 道順や行き方をたずねたり、答えたりできる 品物や値段をたずねたり、答えたりできる											
第6回	予約のお客様を迎える		あいさつ、予約のチェック、バッグ・コート類を預かる。おもてなしができる。相手の状況を見て声をかけることができる。											
第7回	料金をいただく		お礼をしたり、苦情を言ったりすることができます。											
第8回	カットスタイルの注文をうかがう（カッティング1）		欲しいものややりたいことを言うことができる。アドバイスを求めたり、与えたりすることができる。提案したり、提案を求めたりすることができる。											
第9回	カットスタイルの注文をうかがう（カッティング2）													
第10回	シャンプー		シャンプーに関する一連の動作、基本表現、被毛に関する用語を覚える。											
第11回	スタイルの注文をうかがう1		スタイルブック、写真などから必要な情報を収集し、カウンセリングができる。											
第12回	スタイルの注文をうかがう2													
第13回	カラーリング (部分的に染める)		カットスタイルについて意見をたずねたり、述べたりできる。細やかなカウンセリングが行え、基本の表現と美容用語を覚える。											
第14回														
第15回	まとめ		シミュレーションによる会話練習。用語・表現の総復習を行う。											
教科書	なし。テキストは毎回配布													
参考書														
成績評価	単位認定 全回出席が前提となる。各回小テスト15点×15、期末試験25点。3回以上の欠席は不可とする。													
履修のポイント														
オフィス・アワー	随時													

平成28年度 シラバス

科目名	販売士		担当者	金森	学科	ペット総合科	開講期	通年						
区分	社会人基礎力分野 理論	選択科目	単位 (時間)	1 (60)	学年	1 / 2 年次	曜日							
授業の概要	販売に必要な商品知識、販売技術、仕入れ、在庫管理、マーケティングなどの専門的技術を身につける													
学習目的	高い信頼と評価のある、流通業界で唯一の公的資格取得することにより、販売のプロになる。													
学習目標	販売士検定3級													
授業計画														
回	主題		授業内容				備考							
第1回	販売士資格取得のメリット													
第2回	小売業の類型（1）		流通における小売業の基本的役割。											
第3回	小売業の類型（2）		小売業と国際化、流通経路における小売業のポジショニング											
第4回	小売業の類型（3）		流通経路における卸売業のポジショニング											
第5回	小売業の類型（4）		製造業の流通経路政策											
第6回	形態別小売業の基本的役割（1）		組織小売業の種類と特徴①											
第7回	形態別小売業の基本的役割（2）		組織小売業の種類と特徴②											
第8回	形態別小売業の基本的役割（3）		組織小売業の種類と特徴③											
第9回	販売形態の種類と特徴		店舗販売と無店舗販売の特徴											
第10回	店舗形態別小売業の基本的役割（1）		店舗形態別小売業の基本知識											
第11回	店舗形態別小売業の基本的役割（2）		ホームセンター・ドラッグストア コンビニエンスストアー・スーパーセンター											
第12回	チェーンストアの基本的役割		チェーンストアについて											
第13回	商業集積の基本的役割と仕組み		商店街とショッピングセンターの違い											
第14回	マーチャンダイジング（1）		商品の基本知識											
第15回	マーチャンダイジング（2）		商品計画の基礎知識、商品カテゴリー構成・棚割とディスプレイ											
第16回	マーチャンダイジング（3）		仕入れ計画の基礎的役割、発注の基礎知識											
第17回	マーチャンダイジング（4）		データーによる在庫管理、ディスプレーの役割											
第18回	マーチャンダイジング（5）		用語説明、テキスト解説①											
第19回	マーチャンダイジング（6）		用語説明、テキスト解説②											
第20回	マーチャンダイジング（7）		利益追求の基礎知識											
第21回	ストアオペレーション		ストアオペレーション、包装の説明											
第22回	マーケティング（1）		ディスプレイの基本的役割											
第23回	マーケティング（2）		人為的販売の基本的な考え方											
第24回	マーケティング（3）		顧客満足経営の基礎知識、マーケティングリサーチ											
第25回	販売促進の基礎的役割		重要事項											
第26回	出展の基礎知識		売り場作り											
第27回	販売事務・計数管理の基礎知識		売買損益の計算法											
第28回	検定試験対策（1）		過去問題（模擬試験）、解説①											
第29回	検定試験対策（2）		過去問題（模擬試験）、解説②											
第30回	検定試験対策（3）		過去問題（模擬試験）、解説③											
教科書														
参考書														
成績評価	単位認定 60点以上 出席率 80%以上													
履修のポイント														
オフィス・アワー														

2016 ペット総合科 シラバス

発 行 YIC京都ペット総合専門学校

発行日 平成 28 年 4 月 1 日

編 集 学校法人京都中央学院

〒600-8236 京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町 27 番地

TEL 075-371-4044 FAX 075-343-3821

本便覧の複写および無断転載を禁ずる。